京城日報

本紙定價　壹部參錢　壹ヶ月七拾五錢▲郵稅拾五錢▲參ヶ月前金[illegible]▲六ヶ月[illegible]▲壹ヶ年[illegible]
廣告料金　五號十五字詰一行一圓五十錢▲二號七字詰同二圓▲四號十字詰同[illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯局六千九百一番　營業局六千九百二番　[illegible]　振替貯金口座京城三〇〇番

八月二十四日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇セ軍國境線占領　藤井枝隊先遣隊滿洲里著

陸軍省公表＝藤井枝隊先遣隊の一部は二十二日無事滿洲里に到着せりセミヨノフ枝隊は二十一日敵を驅逐し滿洲里北方國境線を占領せり(東京特電)

◇日本軍大歡迎　衷心感謝の意を表す

陸軍省公表＝沿道に於ける日支兩國民、チエツク、スラヴアツク軍は日本軍を誠心誠意歡待し殊に興安嶺以西にある避難露國民は日本の義氣に對し狂喜感謝の意を表し切に日本軍の成功を禱り居れり(東京特電)

◇ワルソウ益々不穩

ワルソウ(波蘭首都)の不穩は日に著るしく市中は獨逸の探偵にて滿され彼等は家宅を捜索し有力なる市民を逮捕せり(國際通信瑞典電報)

◇英軍諸地占領

英軍は二十一日拂曉アンクル河北方十哩の戰線を攻擊し激戰四時間の後アチエツトル、ペチツト、ボークル、ハアイエンヴイユー、クールセルの諸地を占領せり(國際通信桑港電報)

◇佛軍益々進出

佛軍はオアーズ攝東方よりエーヌ河に達する二十五基米突の戰線に亘り猛擊を加へ平均四基米突の進出を遂げたり(倫敦電報)

◇參議院正副議長當選

二十二日午後參議院正副議長選擧會開會され出席議員總數百二十三名梁士詒氏百十九票にて議長に當選同氏の就任挨拶あり副議長には百十四票にて朱啓鈐氏當選せり(北京特電)

◇衆議院副議長

二十二日衆議院副議長選擧會開會出席議員總數二百五十七名劉恩格氏百七十六票にて當選せり(北京特電)

◇廣東軍政府準備成る

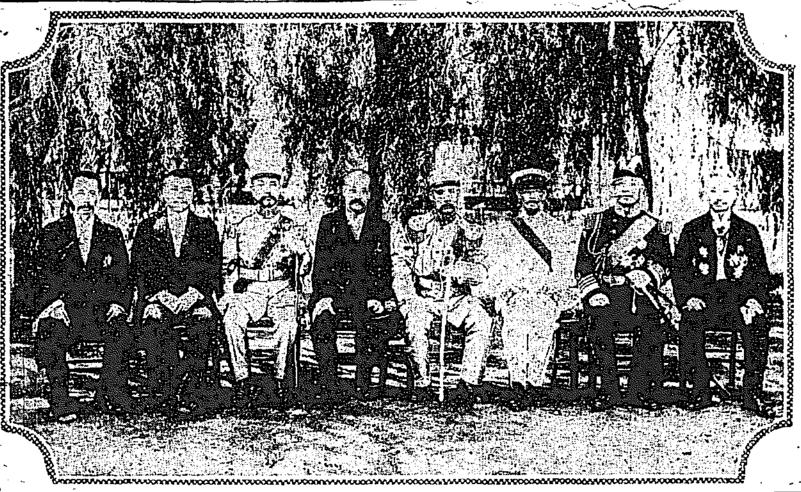
過日來廣東農林試驗場內に準備中の軍政府は準備既に成り岑春煊氏は十五日內務部に伍廷芳氏は十八日經衙部內に入り李烈鈞氏は唐繼堯氏の委囑により參謀總長を代理する事となりたり尙十九日廣東第一回正式協務會議を開き岑春煊、伍廷芳氏等出席岑氏を主席總裁に推し內務を擔當せしめ伍廷芳氏に外務、莫榮新氏に陸軍、林葆懌氏に海軍、李烈鈞氏に參謀部を擔當せしめ孫文、唐紹儀の兩氏に總裁就任方を勸告の電報を發するに決せり(北京特電)

◇支那米の大輸入　百萬石交涉成立說

我政府にて支那米輸入の計畫あり日支兩國政府間に於て江蘇省防穀令解除法に就き交涉中なりしが交涉成立せし旨廿三日公報あり此際百萬石を輸入す可しと傳へらる(東京特電)

◇北京內閣會議

支那國務會議の議案は國防、出兵、南伐、借款等の大問題より任免に至る迄其數夥しく之れが會議に各閣員忙殺されつゝあるが殊に廿日の閣議は黑龍江督軍の提出せる國防問題及び日本より請求の新約履行案に對する討論に花咲き漸く午後一時半散會せり。寫眞は廿日の重要閣議散會後國務院庭前に於て撮影せるものにて(右より)交通總長曹汝霖、海軍總長劉冠雄、外交總長陸徵祥、國務總理段祺瑞、內務總長錢能訓、陸軍總長段芝貴、司法總長朱深、教育總長傅增湘なり



◇豫算提出　本月末頃か

勝田藏相は曰く來年度豫算概算書は目下各省にて調査中なるが二十三日迄に大藏省に廻付されたるものは海軍、外務、司法の三省に過ぎず全部の提出を見るは今月末なるべく大藏省にては各省全部概算書の出揃ひを待ち夫々査定を爲したる上閣議に附する筈なるが豫算閣議は九月下旬頃なる可し(東京特電)

◇伊國陸軍代表

日本駐在伊太利大使館附武官フイリツピ大佐は西伯利派遣日本軍司令部附伊國陸軍代表者に任ぜられたり(東京電報)

◇氣球研究會委員

中島海軍少將、松村陸軍少將、鳴瀧工兵大佐は今回臨時軍用氣球研究會委員を免ぜられ海軍少將秦越太郎、陸軍工兵大佐福井策三、同中佐河田四十一、陸軍技師岩本修平の四氏新に臨時軍用氣球研究會委員仰付られたり(東京特電)

◇學位授與者

二十六日左記の諸氏に對し學位授與式擧行さるゝ筈なり(東京特電)
▲花輪繁彌太▲戶谷銀次郎▲横井濟▲岩田力穗▲井戶泰(以上醫學博士)▲三田村得四郎▲吉澤義則(以上文學博士)▲秋峰昌雄(農學博士)

◇兩會社合併と增資

輸出食料品會社は朝鮮水產會社と合併し現在百四萬圓の資本を三百十二萬圓に增資する旨廿三日臨時會にて發表せり(東京特電)

◇東拓監理官任命

廿三日左の通り辭令ありたり(東京特電)
東拓監理官を命ず　拓殖局書記官　入江海平

政界の暗鬪(上)

八月二十日夜　城南生

◎各地騷擾の沈靜と共に、騷擾の性質、原因等も判明したので所謂政變談も少しく立往生の氣味になりました。

◎政友會の領袖連は、大分焦つて來た矢先の事とて、政府問責論は數日前迄は隨分盛んでした。併し何分にも原總裁が不在で原氏の腹が判らず、無暗な事をして總裁に迷惑をかけたり、黨略上不利益に陷つては困ると云ふので、各自相戒め、餘り積極的破壞運動には努めなかつたやうです。

◎其處で天皇陛下に於かせられても豫定を繰上げ、還幸相成る事となつたので、政局の關係に如何なる變象が起るかも知れずと想像し、政友會では十九日午後幹部會を開きました。

◎幹部會の結果、新聞にも出て居る通り村野幹事長が盛岡に急行する事となりました。表面は政情大に動いて來たし　陛下も還幸遊ばさる始末なれば、總裁の歸京を促すと云ふのであるが、歸る歸らぬは固より原氏の胸の中に在る。

◎福田幹事長は、幹部會前寺內首相官邸に訪問して居る。察するに首相の顏色口吻に依り、其の決心の程を判斷し、之を原總裁に傳へんとしたるものならん。要するに政友會の幹部は進んでよきか退いてよきか、大いに迷つて居る。其處で總裁の歸京問題は第二の問題とし、第一は總裁其人の腹を探りに行つたものでせう。無論騷擾の顚末や、蹶起組の幹部の意嚮等を報告したに違ひない。

◎只今迄の處では、原は歸るか否か判明しない。けれども右に對し、政府側は極く冷靜に見て居る。曰く、原は決して今度の騷擾事件を以て政治問題に供しまい。又騷擾の性質、原因に就ても、原は政府と說を共にして居る筈だと云ふのである

◎察するに、政府筋からは、騷擾に就ても、一通りの通報は原氏の許へしてあるであらうし又有力者から、手簡の交換位があつて居ると思ふ。それ故に政府側では案外沈着にして居る

◎政友會では、先度の出兵問題外交調査會で、大に氣を吐いて居る矢先政府は重ねて滿洲里出兵を斷行した。政府では之を以て滿洲守備軍の移動也と云へど、移動の後に別に補充師團が行く故、ヤハリ出兵である。故に政府の此のやり方は詐欺出兵、[illegible]出兵だと云つて盛んに憤慨したものです。

◎併し此の點に就いて、後藤外相は次の如く言つて居る。即ち滿洲里方面の事態に關しては、斷へず報告を調査會に配つて置いた。それに依れば到底此處に至らねばならぬ結論が導く筈である。故に之れが爲め別に外調を開かなかつた譯であるが、事態が判明して居る以上、委員間に反對はあるまいと思ふさ。

◎今度の米價問題騷擾事件は、かう云ふ矢先に起つた事とて、政友會內の蹶起組の擡頭したのは、當り前かも知れません。今日では山本、元田、高橋、中橋、岡崎、床次、皆急進組になつた模樣です

◎二三日前憲政會が、政府彈劾の宣言書を出したるは新聞で御承知の事と思ひます。加藤總裁は、當時輕井澤で腸を害したが、大した事でもなく直に平癒して、本日突然東京に歸りました。

◎其の歸京が　陛下の還幸の爲めだと云へば夫れ迄なれど、本日直ちに幹部會を開いて、何事か凝議した。

◎これより先き、今早朝憲政會の安達、濱口の兩氏は、小田原に山縣公を訪問しました。訪問の目的は、新聞にも出て居る通り、政府の責任を糺彈に行つたのですが、實は山縣公の心中を探りにいつたのです。憲政會の策としては此の際政府の變る事が第一、新政府に割込み出來る事が第二、萬が一には自黨一味の方へ政權を取り戾したい事が第三の望みである。近日別に松方侯をも訪問する筈である。

◎此處に最も面白きは大隈侯である。侯はモー二三日前に歸京し、而して頻りに騷擾事件を論難して居る。侯歸京の目的は、一應東京に歸つて一定の腹案を定めた上、日光に赴き天機を奉伺し、侯一流の發展談でも奏上するつもりらしく相見え候。

◇兼二浦小學增築

兼二浦小學校增築問題は二十三日の協議會の結果豫算三萬五千五百圓にて增築の事に決定せるが敷地は現在校舍の西隣にて民家五十餘戶を他に移轉せしめ新築すべく三菱製鐵所は二萬圓を寄附する事に決定せりと(兼二浦特電)

◎御交換電文 (傳達)

日本赤十字社より過般派遣したる慰問使德川慶久公一行が亞米利加合衆國訪問に對し同國大統領より我が　天皇陛下に寄せられたる電報並に　天皇陛下より親しく御答

◎叙位

二十日附左の通り叙位ありたり
從六位勳六等　佐藤重治　叙正六位
正七位　黑崎美智雄　叙從六位

◎派出所名稱改正

警察官派出所及び同駐在所の名稱並に位置中變更若干の改正ありたるが右別表改正の旨二十六日官報を以て告示さるべし

◎朝鮮簡閱點呼

本年度第十九師團簡閱點呼日割及び場所左の通り決定せり

區別	月日	點呼場	月日	點呼場
第一區 京畿道(京城を除く)	九月廿日	龍山	九月廿七日	永登浦
	同廿三日	開城	同廿八日	水原
	同廿五日		同三十日	利川
	同廿六日	仁川	十月二日	平澤
第二區 黃海道(京城を加ふ)	自九月廿日至同廿七日	京城	十月三日	黃州
	十月一日	新溪	同四日	兼二浦
	同二日	沙里院	同六日	載寧
			同八日	海州
第三區 平安南道(价川郡の一部を加ふ)	九月廿日	平壤	九月廿四日	安州
	同廿一日		同廿六日	鎭南浦
	同廿二日		同廿八日	勝湖里
第四區 平安北道(价川郡の一部を除く)	九月廿日	定州	九月廿三日	義州
	同廿一日	宣川	同廿六日	寧邊
	同廿二日	新義州	同廿八日	北鎭
第五區 江原道	九月廿日	鐵原	九月卅日	長箭
	同廿四日	春川	十月五日	江陵
第十區	同二十日	江界		
第十一區	同二十日	中江鎭		
第六區 咸鏡南道(城津を加ふ)	九月廿日	咸興	九月廿七日	新浦
	同廿一日	高原	同廿九日	北靑
	同廿二日		十月三日	[illegible]
	同廿三日	元山	同七日	城津
第八區	同二十日	惠山鎭		
第九區	同廿二日	新乫坡鎭		
第七區 咸鏡北道(城津を除く)	九月廿日	羅南	九月廿三日	會寧
	同廿一日	鏡城	同廿六日	雄基
	同廿二日	淸津		

◎支那米輸入說に就て　內鮮米界の影響如何

外務省より支那江蘇省の在米百萬石の輸入に付支那政府に交涉中なる事は屢々東京電報の報じ來れる所なるが二十三日

▲交涉成立　支那政府は實施中の防穀令を解いて在米の日本仕向けを承諾せりとの公報あり(別電參照)右に付き京城の某支那通は曰く、江蘇省は支那中部の海岸に面し大體に於て地味肥沃なり而して揚子江の下流は同省內を流れ上海は省內に位置するため該支那米の日本積出は甚だ便宜ありと云ふべく果して交涉成立し日本政府にて船腹の準備を急がばその支那積出しは決して多くの時日を要せざるべしと思はる又米質は如何と云ふに省內の產米は區々に分れ一概に云ふべからざるもその

▲北部產の米質　は頗る良好にして多く內地米に讓らず、唯少くも臺灣米を凌駕し居れり、所謂南部產は品質佳ならず、所謂南京米若くは蘭貢米に近きものゝ如し今回の輸入米が南方產多きか北方產多きかは知り得ざれど恐らく各等米の混積となるに非ざるか又買出しは銀價昂騰の今日日本にとり不利の趾ひあり且つ運賃並に關稅の諸費を要するに付頗る安價に市場へ供給する事は不可能なるべきも恐らく鮮米より廉價に入荷し得べしと思はる又內地の米價調節上に及ぼす効果如何と云ふに政府は

▲該支那米を輸入　せば差し當り東京、大阪、神戶等の大市場に於いて指定商に大賣出しをなさしむべきに付その數量の少なからざると本年米作の豐收見込みなるとは相俟つて頗る有力なるものあらんかと思はる、更に最近朝鮮の正米は依然として底固しコレ廉價はあれど米の一般需要減ぜず廻米は依然不振なる事內地に於ける米の不足のため買附註文の殺到するためと云ひ得べし而して內地よりの買附米は廉價用のものも少からざる狀態に付支那米の大輸入を見ば

▲若干減じ　又歩合によりては支那米の入鮮も明し得らるべ

◎電燈料金整理　地方も多く据置

朝鮮各電氣會社中最近當局より電燈料値上の認可を許可されしものは左の六地なり
木浦、淸州、新義州、仁川、鎭海、馬山
右はその土地の炭價、勞銀頗る高率にして何人がその經營の衝に當るも引上認可率以前の料金にては收支不引合なる事を當局に於て認めたるためにして右の外値上の內申を當局に致し當局の意向に從つて値上を斷念せしもの並に當局の意向を觀望しつゝありしも値上許可困難と想察し未だ値上の申請をなすに至らざるもの當初より値上の意なき電氣會社は左の如し
大邱、群山、京城、釜山、平壤、元山、新安州、淸津、羅南、大田、開城、水原、光州、咸興、鎭南浦
結局從來の炭價並に勞銀にては各地電氣會社の料金は高率に失したるも最近の炭價三割內外の昂騰勞銀一二割の騰貴に際し各地の料金据え置く事となりしは料金を引下げしと同樣の形にて料金整理の實現と稱し得べしと

◎兩講習會終了式

京城中學校內に於て開會中なりし臨時教員養成所卒業生講習會並に高等普通學校內に於て開會中なりし小學校教員養成所卒業者講習會は何れも二十三日終了したるを以て同日正午京城中學校に於て兩講習會合同終了式を擧行し關屋學務局長上田視學官等參列せり

◎十八銀行龍山支店

十八銀行より申請中なりし漢江通り十三番地に龍山支店設置の件は二十一日附を以て總督府より許可されたり尙同支店は目下新築中にて竣成次第開店の運びとなるべく同時に同行の新龍山派出所は廢止すべしと

◎兒島總長巡視

兒島總務總長は二十四日午前八時京畿警務部京城憲兵隊本部を巡視せしが二十五日は警官練習所を視察の上朝鮮貴族二三氏を訪問すべし

東歸小草(三)　今關天彭

書父君東尾
青山淡抹水生鱗。中有柴門白髮人。無奈劍書終作累。兒過三十尙風塵。

京都謁陶庵公
逶迤城壁十丈紅。門前栽竹有淸風。誰知致士澤民事。講在茶煙花雨中。

訪湖南博士於洛東時移居未旬日
不管門多將相車。城東昨日也移居。儒家別有太平策。閒讀梨洲待訪書。

人事消息

▲齋藤惣北第一部長　二十四日朝退京
▲片山繁氏(長崎實業家)　二十四日朝入京太平町片山醫院へ投宿
▲村田素一郎氏(鑛務課長)　二十三日附往復十日間の豫定を以て平安北道雲山昌城二郡に於ける鑛業狀況視察の爲め出張を命ぜらる
▲岡本淸氏(鐵道局技師)　二十二日附六日間の豫定にて大田沃川永同秋風嶺金泉へ出張を命ぜられ二十四日朝出發
▲島崎孝彥氏(土木局京城出張所技師)　二十三日附七日間の豫定を以て平壤大同郡海州郡延日郡開城郡へ出張を命ぜらる
▲青木戒三氏(農務課長)　二十四日午後六時五十分南大門着列車にて金剛山方面より歸京の筈

茶前酒後

◆滿四年前の、八月二十三日は、帝國が獨逸に對して、宣戰を公布したるの日也。而して二十四日、即ち本月本日は、獨逸駐箚、時の我船越代理大使が、伯林城頭より日章旗を捲いて去れるの日也。久しく山東の一角に蟠居し徐に東洋の天地を睥睨しつゝありし、獨逸勢力を、根柢より打破し、東洋永遠の平和を、確保したる、大詔煥發の日は、四年前の昨日にして直ちに其實行に入りし、第一日は即ち四年前の實に今月今日也。吾人が歐洲大戰を思ふと共に、記念して忘るべからざるの日也。而して歷史は千歲に、此の光榮ある吾人の記念日を傳へん。

◆滿四年後の今月今日は、皇師再び極東の野に、其の武を輝かす、日東帝國の勢威眞に隆々乎たり、誰か又皇軍に敵する者ぞ、彼等烏合の衆のみ。夕陽西さす滿洲里の曠野、月を浮ぶ烏蘇里の江畔見よ、進軍堂々たる常勝軍の勇姿を。

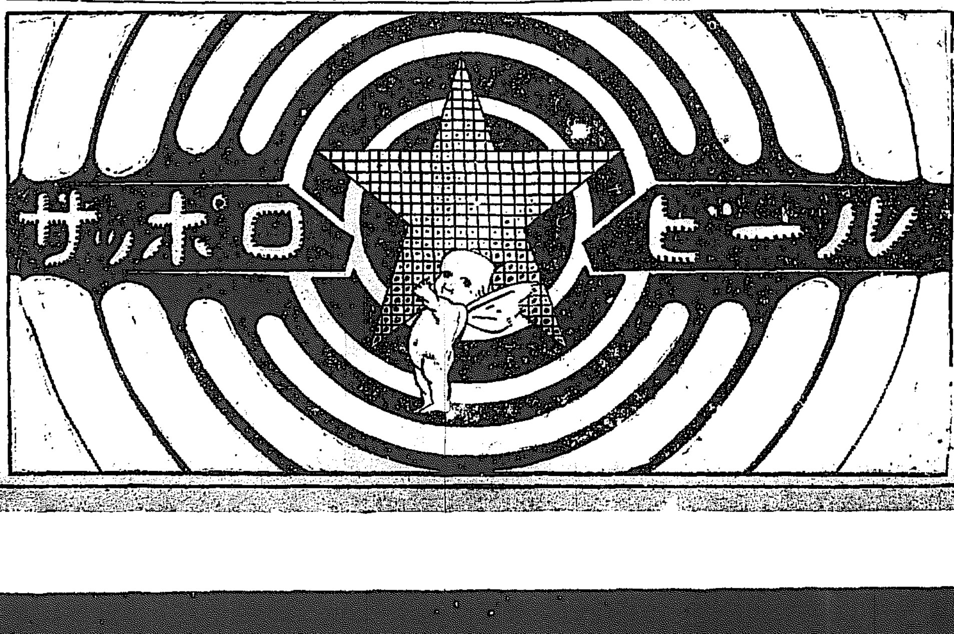
◆廣東軍政府も、愈々成立したるもの、如く、其の顏觸れを見るに南方錚々の人物、之が中堅たり。北京にても、愈々新國會の開會を見る。而して大總統の選擧期日は時々刻々に、接近し來る。

◆支那も聯合各國と共に、浦鹽に出兵し、外事之より漸く多端ならんとするの時、內には尙ほ依然として政爭の混沌たるあり。而も馮總統は、既に自己再選の、見込なきを豫知し、發に辭職を發表せり。節九月に入らば、支那政界は必ずや、紛々擾々混亂を重ねて、殆ど收拾するに難かるべきの觀を呈し來るべし。總統、副總統の爭奪が、或は意外に無事ならんも、南北分裂の、今日の兆候を奈何せんや。

◆吾人は曩に、今冬の薪炭に對して、一言する處ありたり。而も言未だ數日を出でずして、既に奸商輩の、大膽にも買占を出現し來る者の如し。吾人は更に重ねて云はん酷寒の薪炭暴騰は、米價暴騰の生活の不安よりも、或はより大なるもの、あらん事を、吾人は敢ていふ再び警告す。

◆妖怪も怪火もなき聖代に、大連埠頭のみには、既に十回の怪火ありと。大連は支那丈に、お化の生棲するもの在ると見えたり。奇ッ怪にして、日本などにては實に珍らしき事也。

勸業債券利殖信託 引受
例に依り堅實なる利殖法に依り毎月多額の利益を割當てつゝあり我社運は日に月に隆盛の域に進み年來の信託者諸君と其欣幸を共にしつゝあり當籤の萬一僥倖を夢み唯徒に債券を死藏するが如き致富策の最平凡事より醒め須く我社を利用し資金の增殖を計られよ斯業者は獨り我社をおきて他あるなし我社は斯業の元祖たり
合資會社 勸業債券信託社
大阪市北區堂島濱通り一丁目　電話北五九〇番　電略(カギ)又は(カ)
▲端書申込次第詳報す▼



◆サッポロビール第一回懸賞廣告意匠應募圖案第四等當選

◇少年少女の讀物◇
お待兼のお伽噺イヨイヨ出來!!
五百部限り特價二十錢　賣り切れぬ內購求あれ
八嶋柳堂著　古賀祐雄畫
教訓お伽噺
美本納入二百七十頁　定價二十五錢
◆それは〱お面白いお伽噺◆
◆それは〱悲しいおこぎ噺◆
◆それは〱お爲になるお伽噺◆
販賣所　大阪屋號　巖松堂　日韓書房
發行所　京城太平通 振替〇〇三　京城日報代理部

大正七年七月一日改正現行

圖◇大谷大將の浦鹽上陸 寫眞は大谷將軍が埠頭に於てチエック軍司令官ヂフリタス少將と挨拶せる處にして(一)大谷大將(二)ヂフリタス少將(三)加藤海軍中將(四)由比中將(五)稻垣少將(六)松平大使館參事官

◇威風凜 として港頭を壓す

派遣軍幹部 浦鹽上陸の光景

二十一日浦鹽より淸津入港勢部汽船平安丸の船客談に曰く

今往航平安丸が浦鹽に入港したるは十八日午前八時なりしが恰かも艀に乘り二隻の商船一隻の驅逐艦の日章旗を掲げて徐々進行するを見望遠鏡を取りて凝視すれば驅逐艦は○○○商船は○○丸と○○丸にして我が御用船なり漸く近づきて見れば各船共紅頬茶褐服の我が

△陸兵を滿載 し居れり同十時市有棧橋に上陸すれば一方アドミラル埠頭方面に當りて喇叭たる軍樂の音起りたるより走り寄れば恰もよし大谷軍司令官を初め我派遣軍の幹部の上陸する所なりき艦て司令官一行を乘せたる軍艦所屬のランチは二隻のランチに護られながら埠頭に着す聯合軍總司令官大谷大將は胸部に燦然たる勳一等の旭日章を佩び威風凜然として上陸し由比中將、稻垣少將、松平大使館參事官及び諸參謀これに續く加藤海軍司令官及び幕僚、菊池總領事チエック軍司令官ヂフリタス少將等出迎へ互に

△擧手握手の 交換あり終つて我軍步兵二個中隊チエック軍一個中隊整列捧銃の前を悠々として通過し一行は數臺の陸軍自動車に分乘し大谷司令官及び其の幕僚はベキンスカヤ街なる我軍司令部に入れり(淸津)

◎白耳義の投出し

位では諾と云はれぬ講和提議

◇……聯合國はア、ロ二州を佛國へ返還させる魂膽……◇

獨逸皇帝が最近墺國皇帝と會見した結果白耳義撤退を條件として又しても講和を提議したとは外電の傳ふる所であるが右に就き某武官の講和觀を聽く『獨帝と墺帝が會見し平和恢復に關する協議を遂げたと云ふ情報は當局にも來て居る併し果して新聞電報に傳へられる樣な條件が出たか何うかは疑問だ獨逸が白耳義を投出すと云ふ事を

★最大條件 とした處で聯合國側は目下の戰況からして大捷を眼前に期してゐる際だから應諾する筈がない、獨逸として白耳義を投出すにせよ元來アントワープ港だけは自分の物にしようと考へてゐるのだから纏まるまい、聯合國の考へでは白耳義を投出すのは當然であるし更にアルサス、ローレン二州を佛國に返還するに非ざれば

★一歩も退 かないと思はれる又米國にしても官言はしたいが此問題には贊成を表してゐるのだから獨逸が講和を提唱するにも條件として白耳義撤退以外に此アルサス、ローレンの問題が解決せられない以上は聯合國は耳を傾けまい、米國の國論としても最後の大捷を獲るに非ざれば講和に

★耳を借さ ない決心があるし夫に占領してゐる植民地の處分問題が解決せねばならぬ又講和の要件として巴爾幹問題及び此際西亞の條件も解決せねば講和が成立しない樣に考へる者もあるかも知れぬが白耳義及びアルサスローレンの條件さへ纏らば平和の曙光を見る事が出來るかも知れぬ

★巴爾幹や 西亞の問題は後に於ても解決する事が出來ると思ふ、併し今回の講和說も要するに從來屢々傳へられたのと同じく大した權威を有するものとは思はれぬ』(東京)

◎李太王殿下

御經過良好 御見舞の李王世子殿下 御機嫌好く御物語

李太王殿下には十日前より肛門周圍炎を患はせられ發熱ありたるより御醫官、安藤芝醫、池邊典醫補等ら御診察申上げ居たるが數日前芳賀總督府醫院長上村外科主任御診察申上げたるに幸ひに局部腫脹自解して多量の排膿ありたる結果經過頗る御良好なる由廿三日午後四時李王世子殿下御見舞の際も御機嫌よく御物語あらせられたりと

◎新炭買占の奸商引致

晉州署の取締

晉州警察署にては新炭を買占め暴利を貪る奸商の取締をなし帝國大學演習林新炭組合晉州指定販賣人大西某を引致し目下嚴重なる取調べをなしつゝあるが事件益々擴大の模樣あり(晉州特電)

◎又も大連 埠頭の怪火

野積大豆燒く

二十三日午後二時頃大連滿鐵埠頭公開野積大豆より又復出火消防手配迅速なりし爲直ちに消止め損害輕微なりしも之にて怪火は十回目なり九回以後一時終熄の模樣なりしが近來稍々戒を怠りたる爲め其際に乘じて放火したるもの、如し(大連特電)

◎郡書記殺し 愈死刑となる

平壤監獄で執行

元南原郡書記竹中一家を慘殺し金品を強盜したる平南龍岡郡吾新面金鳳兵は去る六月二十九日平壤覆審法院に於て死刑の宣告を受けたるが七月三日確定八月十九日平壤監獄に於て死刑を執行されたり

△最一つ死刑 平南大同郡南兄弟山面桂龍起は強盜殺人罪に依り平壤覆審法院に於て死刑の宣告を受け去る六月三日確定したるを以て八月十九日平壤監獄に於て死刑を執行されたり

◎一村、海と化す

廿餘町步全滅

仁川府管內松村里所在の鹽田堤防を去十五六兩日に亘る暴風雨の爲め一部缺潰を生じ之が假り修理を施し居たるが去廿三日の滿潮時に際し海水の爲め再び大決潰を生じ修理の箇所より崩壞して海水浸入二十五町步の畓に亘り、甲尺總出さつゝありしも更に廿四日午前の滿潮に際會し三度大決潰を生じ遂に海水は屠獸場附近に及び畓二十五町步は全滅に歸したり之が爲附近は大海の如くに化し其損害約一萬圓に達する見込なりと

◎俸給日の後で 大繁昌

◇二十三日の……米、安賣り

京城救濟會に於ける米の廉賣狀況は二十一日が各官廳其他の俸給日等の關係により一般細民間の金廻り比較的潤澤なりし結果廉賣は大盛況を來たし廉賣當初以來の

▽…混雑を 見せたり今兩日中の扱ひ高を比較すれば去る二十一日の廉賣石數外國米を除き百八十四石九斗五升より廿二日は二百四十一石一斗六升即ち一躍五十六石二斗一升を增加し其翌日たる廿三日の扱ひ石數は二百七十四石四斗六升即ち前日に比し三十三石三斗の增加なるを知る以て二十一日以後兩三日中に於ける廉賣の

▽…盛況を 覗ふべし今二十三日中の扱ひ狀況を聞くに總石數二百七十四石四斗六升を示し此他に卅石八斗の外國米廉賣あり右の內東拓米は石拔きにありては百三十石五斗、石不拔にありては四十二石四斗八升計百七十二石九斗八升を算せり而して

▽…廉賣券 發賣枚數は京龍九箇所の廉賣所扱ひを通じ一升二升券を合して一萬千八百四十枚の多數に上り內外米二升券一千五百四十枚を算せる有樣なり

△施米の總高 米も粟も二十二石

明治町二丁目元漢城病院跡及び龍山京城府出張所の兩所に於て本月十七日より開始したる細民赤貧者救助としての施米狀況は其後著々救助の地區を擴大し來り二十三日までの累計に於て內鮮人合計戶數五百二十八戶人員一千四百十三人を算し施米石高白米二十二石八斗三升粟廿二石八斗三升に上れりと

◎群山で米の買占

約八千叺を大阪へ送った

買占などは決してせぬと云ひながら既に警察では嚴重に監視し時々戒告してゐる

群山には目下大阪秋本商店の雇員用として鮮米の註文を受けたる安積直吉なる者滯在中なるがその最近の動靜を聞くに同人は表面小作を裝ひ買占など爲さゞる旨言明し居れるも陰に大阪なる小西辰次郎の手先と氣脈を通じ本月十八日より二十二日迄の間に仲立人福島直吉外十二名が長田磯次外七名の買方と連絡をとり間泰造外十名の買方より若干買占めたる形跡あるもの、如く群山署にては是等米商の行動を嚴重監視し時々警告を與へ居れり然も二十二日同港を出帆したる汽船安東丸には正米七千八百三十五叺(一叺四斗入)を積み込み大阪へ廻航し尙ほ本月末には尼ケ崎汽船二隻も正米積込みの爲め入港する豫定なりと

◎又候白米の値上

廿四日から升三十九錢 仁川の力武が軍用米を買附た爲だと云ふ

京城の白米小賣値は數日來各地方が亂調子であつたため會合を催して騰げるか、現狀維持かと、相談した結果、結局一錢あげの三十九錢となり二十四日から實行する事になつた、此れで一旦下た米價も再び燃上げらる、事となつたが、之が原因としては仁川の力武が軍需用米の買附けを開始した爲とか、或消息通の談に依ると力武は仁川よりも京城は相場が低いので其値開きだけでも餘分に儲けやうとの魂膽から再び京城を荒し廻つて居るのであると

◎釜山にも 大阪から米買ひに來た

目下形勢觀望中

釜山には下關救濟會用の鮮米買入れの爲め同地會議所議員來釜せる外大阪よりも米商三名入り込み來り目下米商岡野政次郎方に滯在し買占に奔走せんとする氣配あるより大池忠助氏は岡野等に注意を與ふる所ありしが元來岡野は內地米商の手先となる風あり釜山署にては二十一日岡野を召喚して戒告する所ありし爲め滯在中の米商は目下形勢觀望中なりと

◎島根縣の 米騷ぎ

高津濱田の兩町

島根縣美濃郡高津町にも七十餘名一隊の暴民起り米屋を襲撃して亂暴せるが濱田町にも一揆起り數十名檢擧さる(大阪特電)

◎宇和島の 酒精會社燒かる

鈴木の支店

愛媛縣宇和島町の神戶鈴木商店支店は二十二日夜暴民の襲撃に遇ひ酒精會社工場事務所倉庫等を破壞放火せられ全燒せり廿三日朝漸く鎭火せるが酒精のみにても四十萬圓の損害なりと(大阪特電)

×……緩衝機……× (投書歡迎)

ピラと小僧 紅天狗

◆此頃の夕方の散步はお誂向だ、ブラ〳〵あるいてゐると色々のものが目につくが、就中店員募集や女中入用の張紙が多い。

◆南大門通りの或所では『內地人店員募集』と書いて、その側に但書して曰く『內地人に限る』としてあつたが、こんな具合なら今一つ『朝鮮人及外國人御斷り』と付加へて置けば良いにと思ふ。

◆これは又店員優遇の意味でもあるまいが『小僧君入用』と君の字付きで、御叮嚀な取扱ひぶり、勞働問題が矢釜しい此の頃、小僧君は頗る妙な思ひつきと思ふ。

◆小僧で思ひ出したが、支那では例の股間の一物を小僧と云ふさうな。それで日本に初めて來た支那人が『小僧入用』といふビラを見て頗る不思議な顏をして『日本人は不思議な物を欲しがる』と感歎措く能はざるものがあつたとか。

◆序に今一ツ支那人に就いて話さう。事は聊か尾籠に失するが便所の一件だ。停車場や劇場の便所には『御婦人用』と掲げてある。これが頗る變挺に聞ゆる方で、支那人側では之を『御ご婦人一用』と讀む。これでは少からず風俗壞亂に見えやう。先生達『日本人はこんな所でまでも御す』のかなア』と非常に怪訝な顏をしたといふ、何々、尤も千萬な話だ、これでは東亞の大帝國も臨監り盜なしになつて仕舞ふ、必ずべき事どもかな。

店の主任へ エッチアイ生

◆商賣の繁昌するも衰へるも一つに店員の心掛一つにあるから店員の訓練は商業經營上最も大切な要件であると思ふ。

◆故に主人や主任たる者は常に自分で手本を示す主義でなければならない若い者を仕立てるには耳から入れては駄目だ目から入れなくては役に立つものではない。

◆例へば客を待遇するには鄭重にせよと諭へるにも只だ口で數へずして客が來れば店員より先づ自分が先きに立つて挨拶をして見せると云ふ遣り方でなくてはならない。

◆當店の主人は誠に善く分別のあるお人よしだが、それに引き換へ主任さんは自分は寢たいだけ寢、起きたい時起き、其うして朝から晩まで屁理窟ばかり列べてやれどうしろさか、こうしろさか、質行の出來難い事をむりやりにさし、共自己は實行せずして誠に平氣の平三で居る。

◆まるで十九世紀の廃識士的遣り方だ。之れでどうして共同一致だとか一致協力だとかが出來る者が有つたら以後慣んで店員の爲め店の爲め大いにやり給へよいか我輩は不平滿々だ

◎此秋の文展は 山の繪が多い

◇…打狗やカムチヤツカの山も出る…◇

文展の出品期日は愈々近づいて來た世は米騷動で安い心地も無い中に畫家連は一向そんな事には頓着なく今が製作の最中である、山に海に其の筆を揮ひに出かける連中の多い中で最も

◇大掛り なのが京都の山元春擧氏の白馬登山である、春擧氏を筆頭として一門總勢十八人堂々として押し出したが何しろ世に時めく畫伯の事とて大名の行列程の物々しさ朝の七時に出發して森林帶三里でウンザリし白馬尻の小舍で休憩すること二時間餘り愈々雪渓にかゝり葱平の難所まで三十丁程の道を蟻の這ふやうにして登る、杓子嶽の尖つた頭が左の方から首を出すと、春擧畫伯が

◇弟子共 を顧みて寺崎君が白馬八題中に描いたのは之だと敎へる、お花畑の花通りは流石に春擧畫伯の事とて打てば響くと謂ふ風だ、風景の變つた葱平附近ではチヨク〳〵とスケツチをしては進んだ、今年の文展には定めし之が例の美しい筆に登るとであらう春擧氏の此登山は大分關西の畫家連を動かして來年は我も我もと押し寄せるとか、寺崎廣業氏も上林の別莊で日本アルプスを主とした風景畫を描くやに噂され

◇洋畫家 では石川寅治氏が『打狗の夕凪』を描き上げて岩手山に登山し、寫生中だと謂ふし辻永氏は赤城山へ上つて、山羊ならぬ牛馬の放牧に閑散な赤城山を描くと謂ひ、中川八郎氏は此間堤清六氏の一行と共に露領カムチヤツカの旅に登り同地の山を澤山寫生して歸つたから今年の文展も山の繪が繁昌するとであらう(東京)

◇……大掃除……◇

愈々廿六日から

既報京城の大掃除は本町鍾路兩警察署管內共八月二十六日實施することゝなれり其の日割は各派出所及び町總代より各戶に通牒あるべく雨天の際は順延となるべし

▲寧樂の古都 堀川生

內地見學團より(5)

◆早朝大阪を出て關西線により大和に向ふ、大和と河內との國境生駒山の麓の道を出ると法隆寺驛だ、處の立つ猛い田圃道を行くこと十丁ばかりで法隆寺に到る。

◆中門を入ると左に高く五重の塔が聳え、右側に金堂がある、案內者を乞うて此の金堂に入ると、玉蟲廚子、觀音菩薩像、藥師等を說明する、體の疲勞と說明の無趣味なので皆大儀になつて欠伸が出る。

◆兎に角此の大刹が我國古美術の粹を蒐め、夙に世界的藝術の寶庫たることは事實である。特別保護建造物二十一棟、國寶百十九點を藏して居るので其の梗概を述するに足る。南大門、中門、大講堂、寶物館等を見て奈良に到る。

◆案內者に連れられて春日神社に參詣する。猿澤池畔で鹿を追ひつゝ參道を行くと、時々案內者が皆を集めて說明する、看板以上だ。時々店屋へ案內して自然と買ふ樣にする。

◆から若草山下を通つて二月堂、三月堂に參拜する。觀音山の山腹にあつて近の參詣者は堂に滿ちて居る。

◆此處から老杉の下を下つて東大寺に到る。豫想よりも大佛は小さい、大佛の胴體と頭との色が違ふと思ふと、胴は天平創造のまゝで頭は二度落ちたと云ふ話。

◆午後二時半奈良を去つて東進し、木津川の清流を眺め、笠置山を眉上に見て五百餘年の昔を偲びつゝ伊賀を過ぎ伊勢に入る。

◆龜山驛より參宮線で晴れ渡つた月を車窓に受けて山田に進む。(十七日參宮線にて)

灯とぼし頃

京元線釋王寺の松林にはもう初茸が出初めたので、ボツ〳〵茸狩りに來る連中も尠なくないさうだが▲松茸はまだ少しも影を見せないが九月に入れば姿を見せるだらうといふことである▲釋王寺といへば昨今の京元線の沿線地の保安林中の茸類はその借主が許可を受けて採取することが出來るさうだ▲以西の高原地帶には秋の色草が美しく咲き亂れて車窓の眺めは非常に佳い▲京城の三券番では物價騰貴の折柄來る線香代では遣り切れぬといふので藝者の線香代の値上げを計畫してゐる

◇各地の白米

‖廿四日小賣値段電報‖

▲馬山● 一等白米一升四十二錢

▲全州● 同上三十六錢安米相場下落せざる爲め二十三日と同値なり

▲仁川● 小賣相場尙ほ變らず特等四十錢一等三十九錢五厘二等三十九錢なり

賛化病院 東京明治町一丁目 電話二四〇番 醫學博士 古城憲治 內科 小兒科 入院隨意 無料施療 每日五名を限り

かぜねつ 面白い程きく カギヤピリン 後來へ手遅れせぬ樣直ぐ用ゐよ 各地藥店にあり 本舖 名古屋 荒川長太郎

稻麥扱 東京本所長崎町三日本發明獎勵會

釜山名著商店案內

特價問屋 釜山大倉町

洋酒 鑵詰 糖粉 釜山 あづま商店

內地材各種 鴨綠江原木卸商 平野材木店 釜山榮町 出張所

乾物 糖粉 煙草 雜貨 卸問屋 釜山 山西商店

酒精 西貢米 砂糖 燒酎 碎米 麥粉 電話長一〇八番

健胃劑 ホシ胃腸藥 主効 消化不良 食もたれ 溜飲吐瀉 飲過食過 胃腸カタル 悪酔宿酔 悪心胸痞 定價 廿錢 五十錢 一圓 東京 星製藥株式會社

愈々二十五日より開始

電報の如く平壤救濟會にては愈々二十五日より毎日午後八時より正午迄果菜市場に於て施與及び廉賣の二方法に依り救濟事業を實施することゝなりたるが、之れが

△買入所　は平安、東洋の兩精米所にして廉賣の價格は米一升に付二十五錢、粟一升十四錢

△廉賣券　を警察署にて[illegible]券、三升券等の交付し販賣所にて賣物と引換ふることゝし、施與せらるゝ分は特に別券を作り府廳に於て交付したる[illegible]民を甲乙丙に種別し夫々施與又は廉賣を行ふことゝなれり（平壤電話）

○仁川救濟會

[illegible]（内譯）▲金[illegible]圓[illegible]▲金五圓[illegible]居お八本▲金五圓おゆく▲金三圓お[illegible]▲金三圓お[illegible]▲金二圓お[illegible]▲金二圓お[illegible]▲金五圓[illegible]お京▲美代香▲[illegible]子▲吉兆▲政子▲牡丹▲[illegible]丸▲丸子▲金一圓[illegible]子）合計三萬三千三十六圓
以上廿四日正午締切

[illegible]に鮮人に對しては鮮米の販賣を[illegible]廢止したるより其數量を減じ各販賣所を通じて鮮米十一石九斗（[illegible]）、申込に關するものは四十一石三斗を算せり此外四斗二升粟二石四斗三升外米二十二石一斗一升の販賣[illegible]

○數百戸に浸水

大阪府下の水害　近日の豪雨にて大阪府下茨木川の[illegible]四百餘起し步兵隊出動せり（電報）

[illegible]救濟會は二十三日より一人に就き十錢乃至五錢を補給する事となれり（馬山特電）

○赤痢

仁川本町二丁目八番地の二興津健長女仁子（八つ）は八月[illegible]町病院に收容[illegible]し隔離注意中なり病源は不詳なるも發病當日甜瓜を食したりといへば或は之が誘因を爲したるものにあらずやと診定さる

○松花江の金風に飜へる日章旗

我軍を迎ふる全市民の歡聲は哈爾賓原頭の初つ秋を搖るがす
生ながら燒殺し生ながら苛殺なめる言語に絶えたる獨逸兵士の蠻虐

過激派軍と相混ぜる獨墺捕虜將に三萬セミヨノフ軍を粉碎し滿洲里の鐵支國境を守れる支那軍をものともせず遂に滿洲里を蹂躙し將に東漸して帝國を脅かさむとせる形勢頗る重大なるものあり、茲に於て我滿洲守備軍の移動を見る事となり皇軍征裝を初秋の風に吹かせつゝ○○○○より大輸送は開始せられ○○○○に向へる皇師は夜に日に次いで陸續として間斷なく英姿を哈爾賓原頭に現はしつゝあり、之れより先疾風迅雷的に關係官衙に出動の通報突如として來れる後より直ちに輸送部隊の來着と云ふ急速なる有樣なるより輸送宿泊糧食等の準備は我在官憲の

不眠不休の状態

にて整はれたり、先づ哈爾賓驛頭に於ては露西亞側より自國革命の三色旗を以てホームを裝飾し我が旭旗は所々の最高所に飜へさせ配するに翠綠滴る綠葉を以て包めるより其の儀

莊嚴にして華美

なり、我が將部の來着毎に露西亞側は一隊の儀仗兵を出し哈爾賓驛の衛戍司令官及び市長其の他の重だちたる露人及び支那側は[illegible]哈支那軍總司令官（寫眞參照）其の他文武官又出迎へり、我が在留邦人は各戸より必ず一名宛の迎送員を驛に發し在佐藤總領事を始め滿鐵公所庄司所長今村駐哈財務官及び陸軍側より出張の將官其の他重なる者は必ず一日　同著發する

列車毎に送迎し

居る有樣にて市中又邦人各戸には國旗松花江の風に飜り迎送人は各自手に小國旗をかざし萬歲の聲哈爾賓原頭に漲けり、其他驛ホームの一部に天幕を張り出征隊に對する在留同胞より贈れる慰問品の配付及び其の他萬事の斡旋所となし

掛員晝夜詰切の

有樣なり、市中は馬車に自動車に人力車に片々として旭旗を飜へし縱横に驅け廻れる樣頗る氣分の緊張せるを覺ゆるなり、皇軍は目下哈爾賓に止らず某地點に向け進軍しつゝあれば現今の哈爾賓は通過の迎送に忙殺せられ居れり、新市

高く旭旗飜へり

街元佛國領事館跡には大日本陸軍出張所と書き出され無數の將官詰めかけ頗る繁忙なるものあり、露人は救世主に會せる心地せりと衷心より我が出動を喜び居るもの、如し、是れ以上は軍事上の機密に屬するを以て報ずるの

自由を有せざるも

○○○○○は○○日哈爾賓に到着せり○○○○○○すべき○○なり、遣般東京を出發し浦鹽に向へる我が赤十字社救護班の一隊十餘名は浦港より哈爾賓に來れるが該一行の談によれば一行が浦港に上陸するやチェック軍の負傷せるもの

多くはダムダム彈

のを施術なしたるが其の傷後一日位經過して來れるこによりて何れも傷口化膿し足手の貫通にても切斷或は死亡の運命に陷りつゝあり實に人道を無視したる慘酷なるものなりと語り居たり、尚西部國境より引揚來れるセミヨノフ軍の

邦人義勇兵の談

によれば西部國境に於ても過激派はダムダム彈を用ひ居れり殊に慘酷なるは捕虜の取扱ひにして邦人の義勇兵も數名餘り前進し過ぎてセ軍の本隊との聯絡を失ひ遂に捕虜となりたるが彼等は必ず捕虜を殺す而已ならず其の方法たるや實に苛酷にして

生たる者に石油

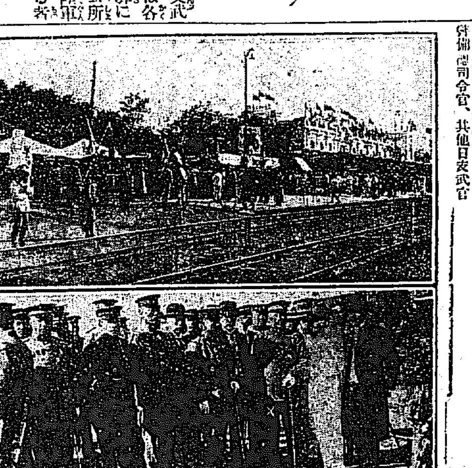
をかけ火を點じて燒き殺す如き殘忍をも敢てし其他戰場にて負傷し殘されし者等の頭と云はず顏手足を

散々に斬り刻み

居る次第にて暴行の極を行ひつゝあり獨墺捕虜の一隊は目下少くとも三萬を下らず武器等も總て精鋭にして戰場の跡を見るに武器は殆ご獨逸品なるもの、如し、セミヨノフは目下滿洲里より三驛東方に在り

僅に三千の兵を

有し其の三千が露人日人支那人蒙古人の四種混じ居る有樣にて今日迄よく大敵を支へ得たりといふべし以下九十五字抹殺（長春）



★昨今の哈爾賓驛　（上）哈爾賓驛頭の歡迎旗　左方にあるは慰問品配給所及び軍隊斡旋係詰所（下）哈爾賓驛にて我が○○司令部の來着を迎ふ　右より滿鐵公所庄司氏佐藤哈爾賓總領事、右より三人目×陸[illegible]司令官、其他日支武官

○再び滿洲里へ
◆引揚邦人漸く歸還す◆

滿洲里に於けるセ軍は過激派の襲來に敗れ一時同地方を引揚ぐるの餘儀なきに至り全部海拉爾に引揚げ過激派の蹂躙に任せ如何ともなす能はず在留邦人の如きも危險に迫られ遂に去月二十六日一切の財産を拋ち海拉爾に避難し在哈有志の義捐に依り漸く今日迄支へ來りたるが這回我軍隊の出動を傳ふると共に同方面の秩序は忽ち安寧に恢復され何等憂慮を要せざるに至りたりと云へば避難民等は茲に初めて愁眉を開き一同申し合せの上取敢ず男子のみは一先づ滿洲里に歸還する事に決し已に其實行を見たりと云ふ（奉天）

米問題と地方

◆滿洲と外米
未だ氣乘らざる模樣也

既報の如く大連に於ける廉賣外國米は關東都督府にて輸入し一升二十一錢の割合を以て大連にては西公園元農事試驗場內旅順にては市役所其他便宜の場所にて必要に應じ賣出し何れも相當の成績を擧げ居れるが朝鮮米の下落及び內地米先安等の爲め一般の人氣は未だ外米に趣る程に切迫し居らざる模樣にて其賣行きは豫期せる程にあらず十九日賣出しを開始し二日間にて大連は三十石旅順は五十石を賣りたるが買手は何れも日本人にて一人一斗以上とし一斗以下の買手なく多くは一袋づゝ買取り所謂窮民程度のものに非ず都督府にては近々更に某地方より上等米の輸入を爲し賣出しを開始するとの事なれば其の際は多少賣行き盛んなるべく從つて米價は漸次低落を告ぐるに至るべし支那人側の買手少き

◆慶北道廳では
愈々窮民救濟を開始す

慶尚北道にては愈々今回窮民の救濟を爲す事に決し臨時恩賜金利子に依る窮民救濟費中より五千三十六圓を支出し管內各府郡島に於ける人口其他を參酌して割當額を定め左記注意事項を添へ夫々配付したり

（一）食糧を給與するに非ざれば生活する能はざる如き窮狀にある者に對してのみ現品を以て相當食糧を給與すること

（二）給與すべき現品は配付金額の範圍內に於て外米、大麥、粟其他の雜穀の中に就き各地方に於て適宜購入する事とし但し上等品を用ひ奢侈の風を生ぜしむるが如き弊なきを期すべし（大邱）

◆救濟會を喰物に
不埒なる奸商
あるこの噂さ　朝鮮人の購買者は注意すべし

美しい慈善の花に群く惡みの露に浴して心からの感謝に喜悅の涙を灑ぐ者があれば一方には惡みの蔭に隱れて不埒な惡奸をする貪慾非道の輩も居る世樣々とは云ひ條世の中に此の慈善を喰ひ物にする程憎むべき者はない京城の救濟會にも此の種の不埒漢が現はれた樣に聞く

◆仁川　でも先頃からそれ〴〵噂が高くなつて其筋でも之が取締に嚴重な警戒を加へて居る不埒な奴等の行爲と云ふのは憐ふべき最初救濟會の廉賣計畫が發表さるゝと明日の暮しに困じ果てた細民は天から降つた幸ひの樣に何れもホット一息初めて安堵の胸を撫でたのであるが之と反對に大きな不安に襲はれたのは鮮人の狡猾な米屋であつた彼等は此の廉賣に依つて當然蒙るべき一時の

◆打撃　を豫期したのであるが暫くすると彼等の頭には一種の奸策が案じ出されて自からなる微笑が其の顏面に溢れた彼等は何をするかと云ふと恐らく商人等は救濟と稱して其の米を人知らぬ樣に買占をやるのである販賣所では豫め此の事あるを覺悟して之が豫防法として成るべく一人に多量の米を販賣せぬ樣に一升二升或は三升宛と

◆◆制限　する事になつて居る然るに殺到する鮮人の購買者は無慮數百と云ふので而も其內に無數の鮮童が交つて居るので繰返し〳〵制限の販賣米を二度も三度も買に來ても中々容易に夫を識別する事は出來ないそこに附込んだのが彼等の奸商で比較的に[illegible]鮮童を何偏となく使つては一日に二斗も三斗も買占むる甚だしきに至つては二人や三人の鮮童でなく五人も六人も使つて一度買つて來れば二錢或は三錢の小使を與ふるのだから鮮童も心得て一度行けば

◆甜瓜　の一つにもなるので喜んで買附くると云ふ有樣である廉賣は總て現金賣りであるから勿論普通の需用家にそう澤山の米は一時に買へよう筈がない必ず小商人なるものが此の機に乘じて無法の利益を得ようとする奸手段であるに違ひないが此の買占た外米はこれを鮮米の四十錢格と混ぜ合せ[illegible]別力の乏しい鮮人に對して俺の米は破格の安賣だと稱して一升二十四五錢で特賣する方法を執らうとするのであるから堪まらない斯んな不埒な奸商が若し發見されたら苛責なく嚴罰に處すると其の筋でも頗る注意を注いでゐるさうである（仁川）

◆細民の種類を三つに別けた
救濟の方法に就て
平壤警務部長　齋藤警視談

平壤府內で細民の状況を調べた處が之を三つに區別する事が出來る

◆◆其一は　一家內で肝腎の稼ぎ手たる者が病氣に罹つて働くことが出來ず家族のものも相當に內職をしてゐるが到底一家を支へる事が出來ないと云ふのであつて之が最も困難なるもので今の處十戸で人數にすると三十二人ある之れは全部鮮人のみで內地人には一戸もない

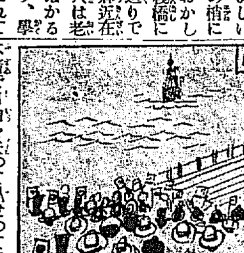
◆◆其次は　金儲けはしてゐるが其額が少い爲めに一家を支へる事が出來ないもので要するに家族が多い爲めに肝腎な收支の償はぬもので是は內地人に三戸、朝鮮人に百四十九戸計百五十二戸の六百五人である

◆◆第三は　所謂下級俸給取でこれが又云ふに云はれない困窮をしてゐるものである、尤も家族の數にもよるが先づ俸給三十圓未滿位なのを標準として差支なからう、さて是等細民に對しての救濟方法であるが今では具體的の案は云へないが第二、第三に對しては已に行ひつゝある廉賣によつてやるやうにする之も更に原價より五錢の値引をして尚生活費の低減を得さしむる事にする、第一に對しては到底廉賣で以て滿足に救濟することは大して救濟の一端にもならぬから之れは今度設立する救濟會の會則によりて救助することにするが何分今日では未だ寄附金も十分でないから最初から到底完全に行ふことは出來難いが追々十分救濟が出來得る樣になる勿論病者に對しては施療の必要もあるが之れも具體的確實には今日の場合云ふ事が出來ない（八月廿日平壤）

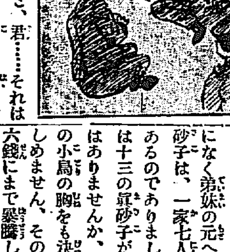
京日紙上お伽講演
時局物語　小さき愛國者（二）
龍山　涙光

晴れたる空に僅に渦卷く雲の餘りに大きくして、さなきだに物に

おびえ易い小鳥の夢は覺まされました
驟雨の街、第二浦の三ツ葉旅館にある眞砂子の元へ、今年十一になる弟の書いた、可憐な手紙が舞ひ込んで、父の出征と一家の悲しみを知らして來た時に、眞砂子は泣くにも泣かれませんでした
丁度その日、お父さんは○○師團の勇を鼓した幾多の將卒と共に、雨にけぶる○○港を出發して浦鹽に向ふのでありました、勇ましい進軍喇叭の音は○○灣の松の梢に嵐と和して響きます、雨をおかして自動車や馬車や人力車が棧橋に走ります、名ある人達の見送りでせう、町の人はもとより近郷近在から雨をおかして出て來た人は老も若きも、男も女もみんなぬかるみの道を尻からげて急ぎます、學校生徒の紙の小旗は雨に打たれて血の色を見せて道の兩側にならんで居ます
世界の平和のために出で征く人達はもとより、送る人達の顏にまで何とも云へん一種悲壯な色が漂つて、歡呼の聲は天の神、地の神の叫びかと聞きなされて、世界の平和を破る惡魔の膽を寒からしめた事でありませう、船は彼方の島影に消えて行きます、斯うして送られて征く、忠勇義烈な人達の中には眞砂子の父におとらない悲しい物語りの人も澤山でありました、中で廿六七になる若い一等卒は
『俺は親一人子一人の淋しい日を送つて居たのだが、突然のこの○○だらう、親爺はもう三年も全



身不隨で自由を失つて臥せつて居るのだ、でもこればかりは仕方がない、丁度出發の前の晩だ、寢物語りに、親爺は時々涙に聲をつまらせながら『太郎、後に心をのこすのぢやないぞ、やれッ、やれッ、一生懸命に働いて呉れ、敵の彈を五十受けても百受けても、決して脊には受けて呉れるな、俺はお前の戰死と共に、太郎は脊には一つも傷がなかつた、腹と胸とを打たれてゐたと聞いたら、それで何より嬉しいのだ、やつて呉れッ』と勇めて呉れたが、夜が明けて仕度を急いで、さて親爺の床を見れば、親爺はこう〳〵……古手拭で頭を塗めて冷たくなつてるじやないか後に心は殘れども、何分時間がないので線香一本立て、やるひまもなく後は近處の人にたのんでおいて、そのまゝ隊にかけつけたが、俺は今でも、親爺のあの最後の言葉と、悲しい死ざまを思ひ出せば……何、死して生きて歸るものか』
石と堅めた拳を震はして、むこ落ちる涙を横になで、語るもあれば
これも若い兵卒は
『さうか、俺はな、東京の方に出稼して居たのだが何分急だもんだから、故郷と云つても鐵道線路を遠くはなれて山坂越ねての田舍の事だから、時間がないので歸られん、直接隊の方へ歸つて行くと、たつた一人のたより少い老母に知らしてやつたのだ、汽車が故郷に近い驛に著いた、其處からも二三人の戰友が乘せられた、熱誠な村人の萬歲の聲に送られて、汽笛一聲汽車は出て行く、俺もこの時はさすがにあの山越ねた片田舍の老いたる母が思はれた、汽車が構內を離れた頃、何の氣なしに車窓によれば彼方の街道を、この炎天に流るゝ汗を拭ひもせで半杖に一人の老婆が、こけつまろびつ急ぎに急いで驛に駈けつけるではないか、乘り遲れたのかしらん

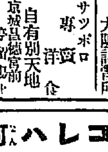


こ向も見て居るこ、君……それは俺の母親だ、七十を越した母は七里の山路をわざ〳〵越ねて來て呉れたのに、その時の俺は『あッ』こいつたきり胸がつまつて、涙が出る、目が曇る……俺は無情な汽車に乘せられて斯うしてたつた一言の言葉もかけられないで、はるばる送つて來て呉れた母と別れて出て來たのだ、今でもあのよぼ〳〵した母の姿を思へば胸がつまつて苦しい……』
こ涙を拭くのもあります、命は君に身體は國にさゝげたものゝ一旦に思へども、斯うした涙に後髮しばし引かるゝも仕方がありますまい
人の情に涙する二ヶ月の[illegible]る町と別れて行李のまゝめもそこ〳〵に、暗い家へ、母病む家へ、餓ゑになく弟妹の元へ、歸つて來た眞砂子は、一家七人の杖であり柱であるのでありました、それにしては十三の眞砂子が餘りに可哀相ではありませんか、けれ共運命はこの小鳥の胸をも決して安らかならしめません、その頃白米は五十五六錢にまで暴騰して居りました、各地では米騷動が引きもきらずに行はれて聞くも恐ろしい放火、殺人等あらゆる慘劇が演じられて人の氣分は全く落附いてゐませんでした、大の男が働いてさへ苦しい今日を眞砂子は全く途方に暮て仕舞います
その間に八月○○日我軍は隊伍を整へて勇ましく目的の浦鹽に上陸しましたそしてその一部の人を同地に殘しておいて主力をニコリスクに集中し、イゴクラエスキ方面のチ軍が敵の攻撃を受けて危險に瀕して居るとの報に十六日の夜、曠野に淡い上弦の月を踏んでニコリスクを發し赴援の途に就きました、その兵の中に眞砂子のお父さ

んが居る事は勿論であります、斯うして聯合軍指揮の大谷司令官の我軍はそれから○○日の後には勇ましい第一戰を開きました、銃砲の音の物凄さよ、月は限なく野を照して居ります、眞砂子の父の露營の夢には果して何物が入つたでせう？、さても釜山の一家はこの苦しい世の中で何うするでせう？（つゞく）

特約店
日用雜貨各種製造業者聯合
直輸開始各地に設置時價の半値乃至三分の一にて日用品を供給する地方商人活躍の好機來る返券入照會次第案內書と萬種日用雜貨製造原價直卸表進呈
東京本鄕湯島六ノ一　五日用雜貨製造組合

自動車
運轉手技師販賣員となり收入莫大なり校外生及校內生大募集規則要
東京市京橋區　東京自動車學校
大阪西區市岡町　右　大阪講習所
本校卒業生愈々不足校外生と雖も



サッポロ　專賣　洋食
自有別天地
京城昌德宮前　停留場北
奧田食堂

流經新藥レスリン
月經
閉止四五ヶ月以內に確實の流經作用を以て容易く應用の目的を遂し其效果仙藥に優越す藥價一瓶[illegible]
書三錢切手添申越進呈
大阪北區曾根崎上一丁目三六地　常盤藥院

◎朝鮮名物◎
金剛山
京城本町　電話二十七　四七五番　龜屋

只今到着
震天動地の大冒險
猛炎　全五卷
大悲活劇
◎母の涙『百萬弗秘密』『捕物錄引』と共に今夜より上場可仕候
廿四日　黃金館

新田式耐水調革
朝鮮總代理店　仁川本町四丁目　白神洋行
京城 中央町　白神洋行支店
新田帶革
新田式バラタ調帶
定價表申込次第進呈

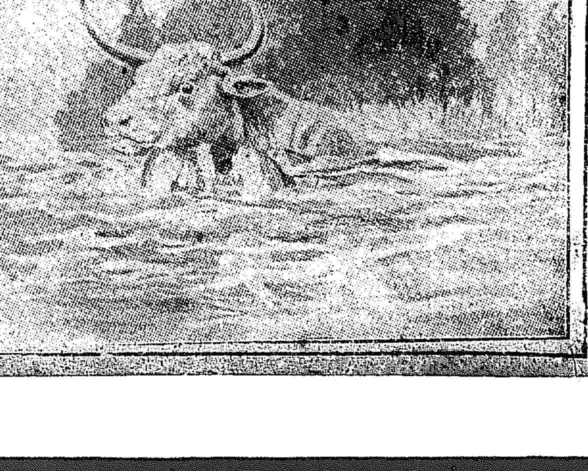
一度飮めば外の品は飮めなくなります
大連燒酎
大連市　大連燒酎製造所

氣象豫報
一時曇

◆京城温度（八月二十四日正午）京城測候所
攝氏　三十一度　華氏　八十七度八分
前日最高温度
攝氏　二十八度九分　華氏　八十四度

（甲午）（きのえうま）百八十[illegible]
八十八夜　二月三日　入梅　五月二日[illegible]　半夏生　七月三日　二百十日　九月一日　彼岸　三月十八日　九月廿日　社日　三月廿二日　九月廿日

コレハ何デスカ



青年男女を醜くするニキビの話

◆この寫眞に　示したのは、世界の大河で長さが一千四百里もある南米アマゾン河の淺瀨に澤山に住んでゐるペライといふ獰惡な魚が、淺瀨を渉る牛に噛附いた所です。此魚は大きさは僅か一、二尺程の魚のくせに人間でも獸でも隙くと間に食つて終ふ恐しい奴で、此魚に噛附かれたが最期、流石の大牛も、僅か幅三四十尺の所を渉りきらない間に、重傷に堪へず斃れて終ひます。人が此瀨を渉つてゐるこ水の上一尺も跳上つて指を嚙取つて行く事などもあるので、其邊では野獸よりも怕がられてゐますが、其れを知らない旅人等は此魚の爲に命を失ふ事も少くない相です。凡て

◆油斷は大敵　小さいからこて馬鹿には出來ません。其れと同じく男女とも青春の頃に屢々できるニキビ吹出物等でも、なあに此位な事と捨てゝおくと、此小粒のニキビが段々と顏に群つて來て座瘡即ちニキビの塊と成つたら最期、晴れやかに美しかつた顏は跡方もなく、只見る橙の皮のやうな人の前には恥しくて出されぬやうな見苦しい顏になりますからニキビが出來たら能々注意をせねばなりません。元來ニキビは

◆何故できる　かと言ふと、人の皮膚は誰も多少の脂肪氣があつて、其脂肪の爲に皮膚が滑々して艶を保ち、容貌の美しさを誇るのですが、これは皮脂腺といふ細い管から、常に皮脂を分泌してゐるからです。所が物は一利一害で此皮脂の分泌し方が多すぎるこ、其毛穴に皮脂の口が塞がれて其れが終に醜いニキビとなるのですが、男女とも青春の頃は此の脂が多いためニキビも出やすいので、これを捨てゝおくこ前言つた樣な醜い顏に成易いものですから、ニキビや吹出物が出來たら直ぐ適當な藥を用ひて速かに治さなければなりません。それには

◆何が好いか　こ言ふこ、化粧用美顏水と共に櫻谷研究試驗所で出來てゐる『ニキビとり美顏水』が最も有效こして知られてゐます。此藥は極めて頑固なニキビや吹出物にも奇效を奏するので治く信用を博してゐます。ニキビや吹出物にお困りの方には切に『ニキビとり美顏水』をお勸めします。それから又

◆[illegible]南京虫　など、毒のある虫に螫された時此の藥を附けるこ、不思議に不愉快な痛さ痒さが止り、螫されて後が腫物になる事などありません。是は斯ういふ虫の毒を防ぐ效用が此藥に備つてゐますからで、夜分蚤や蚊でお子方のムヅかる時など誠に重寶此上ありません。尚進んで

◆容貌の美を　全うするには此藥を常用するのが捷徑です。然うすればニキビや吹出物を防ぎ、皮膚は次第に磨かれたやうになり、容貌の美しさは益々加はります。斯ういふ進歩した重寶な藥ですから『ニキビとり美顏水』は廣く心ある家庭に常備されてゐます。

定價　十五錢　廿五錢　五十錢　壹圓

商況

東京期米特電
二十三日後場 寄付 二十八圓二十三錢
二十四日前場 二節 二十八圓〆六錢

兵庫期米特電
休會

大阪株式特電

銘柄	拂込額	日後場
宇治川水	五〇、〇〇	…
大阪電燈	五〇、〇〇	…
東洋拓殖	五〇、〇〇	[illegible]
合同紡織	五〇、〇〇	[illegible]
鐘淵紡績	五〇、〇〇	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋製糖	五〇、〇〇	[illegible]
大阪商船	五〇、〇〇	[illegible]
日本郵船	五〇、〇〇	[illegible]
同上新株	五〇、〇〇	…
堂島米穀	五〇、〇〇	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	…

大阪三品特電
二十三日後場
八月限 四〇七、六〇
九月限 ……
十月限 ……
十一月限 ……
十二月限 ……
一月限 三九七、一〇

大阪期米特電
二十三日後場 先限寄付 二十八圓九十二錢
四節 二十九圓〆九錢
二十四日前場 寄付 二十九圓〆八錢
二節 〆五錢
三節 〆一錢

下關期米特電
停止

雜報

●綿絲布小戻す　大阪三品二十三日の前場は當限四百三圓九十錢先限三百九十四圓と一段不安を報ぜしが後場に至りて殘分人氣直りて當限四百七圓先限三百九十七圓十錢と前日より約三圓方を引戻したり綿布も先物三錢十錢方引上げ三圓四十錢と氣丈成行き應じたれば當市中も弗々買人現はれたるも粗布三エーの三百五十三圓見當を手堅く持合ひ居れり

●正米又々高し　內地米騰の物議と同時に內地筋の買附契約鮮米は一時買主より積出し中止の旨を照請し來りしが人心漸く平穩に復し來るや之れ舊契約米の積出し復活せるのみならず群山仁川の各地には大阪府及び下關市役所の廉賣用買附の外新規注文頻々として入込み漸次入氣を煽りつゝあるが他所に比し割安の位置にある當地は自然之等の買狙ひは特殊に來買附け仁川筋は一時世評を憚りて表面手を引きしが如く裝ひしも今日尚鮮人を手先きに使ひ忍びて小口買付に奔走しつゝあるが如く此情を眺めすこぶる堅調の形勢は一段高氣配となり買入側の唱へは日本種正米三十錢一品三十二圓在來三十二圓五十錢三十一圓七十錢と前日に比し約二十錢高の見當なるが賣人側は此の堅調に乘じ各自勝手の値段を吹き居る有様にて高値を提出しも不間勝にて實際出來値は一圓近き値開きあり眼先市況は混沌として捕捉す

●葡萄酒昂騰　葡萄酒は今回一箱に付四圓八十錢方値上がりして錦印三十九圓八十錢赤玉四十四圓八十錢となれり原因は原料運賃高等の關係にして從來錦印は佛國より赤玉は西國より原料を仰ぎつゝありしが近來兩國よりの輸入杜絕し何れも米國より之を仰ぐ事となり居れるも船腹不足の折輸入捗々しからず需要增加（今回の値）上げを見たるものなり

●白米一圓高　白米は注文殺到と原料の高値に連れ一圓方の昂騰を示し市中卸値は二十四日より特等三十五圓五十錢一等三十四圓五十錢二等三十三圓に上りしが尚原料との採算上非常の割安に當れば居眼先尚一段の引上げを見るに至るべし

●籾眼先高見込　本品は玄米の昂騰と廻着薄にて望人頗る多く相場は硬砕力種九圓三十錢在來種八圓九十錢次品八圓五十錢見當なるが眼先更に高騰へなり

●鮮白躍進す　鮮白は頃日來割安に過ぎたると原料高を受けて反つて一段造しく唱へ

る處なきも在來は前高値當時の買附の外新規廻米の見るべきものなく在米は日々減少の一方なるに新規注文多ければ價格も尚一時高値あるや知れず併し既に外米も到着し內地よりの買付に對しても稍く緩和し初めたれば人氣緩和の上に多少の功を奏すべく又內地も江蘇米百萬石輸入する事に決定したる趣なれば之が到着の曉は自然鮮米の買附も弛み來るべし

●銑鐵更に强硬　品薄の爲め逐日上騰歩調を辿り先日既に四百八十圓迄持ち上げ續けたる銑鐵市場は兼二浦よりの入荷氣構へ其他にて一時高保合の商狀を呈し或は多少市價の緩和を見るに至らんやも測られずとさへ觀ぜられ居たるが愈々其入荷を見るに至るや市況却つて强氣に向ひ茲一週間前より一躍五十圓高の顯五百三十圓に暴騰し甚だ底强き商勢を示し居れり原因は矢張り品薄の爲めにて過般來關東市場が關西よりも著しく割安なりし關係上關東側より關西方面へ移動したるものあるが如く且つ一般の需要も依然として減退の模樣も見えざるより自然關東市場の在荷が一層逼迫を告げたる結果なるが如く其れが爲めか常に關東より二三十圓方上鞘に在りし關西市場は昨今は却つて二十圓方の安値を示し居れり而して先き行も昨今の如き需給關係にては到底下押しの見込みなく來年度の先約品も四百三十圓以上の高値を以て契約され居る有樣なるを以て來春にかけ依然高値を維持するものと觀ぜらる

●分蜜先物漸騰　精糖は鼓需要期の經過せると共に在荷稀薄は補されたるより合社側の態度自然軟化し相場も二十錢方下押せり分蜜糖は相場漸騰の好勢を持續し是全く仕手關係に基因するものにして賣屋は盛に誰攏を行はんとし賣屋は賣屋を品攻めにせんとする兩者作戰の結果とも云ふべく在荷潤澤なる本品として不自然極まる相場にして突飛高に驚て瓦落を招致すべきを覺悟せざるべからざるは勿論なるべしされど仕手現在の動靜より之を推せば目先尚一段の上進は恐らく免れざるべし●臺灣赤糖黑糖は物好入氣にて相場保合を唱へ二歩十錢方高なり赤糖は四圓七八十錢を堅持し居れり

五十錢見當にて約一圓五十錢方躍進せり

●群山正米漸騰　二十四日入電によれば群山正米は此數日來漸次昂騰歩調を辿り相場三十四圓五十錢上一等白米小賣價三十八錢と二錢方引上げたり

●煎子上物薄　煎子は產地漁況思はしからざると過般來天候の不良續きたれば乾燥不充分にて上物少くなし殊に近來産額の七分方は內地へ移出せらるゝにより鮮內出廻り潤澤ならず氣配依然强硬にして市中相場は上物二十三四圓を唱へられつゝあり

●ソース昂騰　ソース品は本國の高値を受け今回星印一圓スワン一圓五十錢方昂騰して和製品も一般に高模樣なり

●干瓢は强硬　干瓢は二十四以下に低落せし手製も底入れ以來漸次上向きとなり今日にては新物二十七八圓古品二十五圓見當に上りたるが其處持越品の關係上新物は未だ入荷なきより之れが相場は單に見込みに過ぎず

●小賣白値上　市中卸値の昂騰せし爲め小賣値も二十四日より一等米三十九錢二等米三十八錢五錢と各一錢方を引上げたり

下關相場
▲朝鮮米は强硬　共後川廻りを見ずして買り物拂底と共に自然取組持續し硬たる相場は不明なるも產地の如きは各地よりの注文殺到ながらずして益々人氣强く最近の入電によれば產地乘りの四十二圓さありしなり自然之れが影響として人氣頗硬を極め居れり而して產地より比較する時は先づ一等白米にて四十三圓見當なり
▲大豆は變らず　前報後運出物三百八十叺の廻着に過ぎずして別段賣り物もあらずと雖も何分今尚は相當の在荷あると折柄さて眼先も見越しを以て別段の注文入りも無く依然弗々の賣れ行きに過ぎずして市況引立たず
▲小豆は薄商內　本品は依然小口弗々の賣れ行きに過ぎずして市況引立つべくもあらず然れども其產地の落付き模樣にあると米價も漸次强硬なる狀態にあるなど眼先き安値は如何あらんとの氣構へを以て各手持筋の賣りいそぎがざるにより共後の輸入は北海產百三十五叺同大納言小豆二百三十叺等なり
▲元山大豆　二十一圓十錢
▲同　廿一圓二十三錢
▲水原大豆　廿一圓五十六錢
▲汗浦大豆　廿一圓五十六錢
▲金効大豆　二十一圓四十六錢
▲肥料の現況　魚肥は前報後朝鮮鯡粕三百五十四本の廻着に過ぎざるのみならず依然産地の人氣安からず肝腎の米價の如き相續らず强硬なる爲め各手持筋の氣酷り居る爲め人氣惡しからず然れども別段急ぎの注文入り來らずして兎角高値は買進み兼ねる風情ゆへ共後賣れ行き捗々しからずして格別相場の昇進を見るに至らず今後の成行き如何は不明なるも何分米價の騰貴と品の比較よりすれば眼先き一寸安値は如何あらんか▲豆粕は兎角見るべき商內行はれずして市況不味閑散なる見込みなく依然出廻りを見ずして段々買崩しあるも連れ自然人氣惡しからぬ也

各地商況
○太邱米況（二十二日）
▲正米三四十錢安　正米は昨日來稍々頭打の模樣あり別段期村料とする程の事もあらざるも頗る好調に復したる小口賣物助上

仁川正米
▲叭の入津弗々あり
▲正米界は前報後依然買物少なき爲め高値保合を唱へ居るも商談は捗々敷からず

生魚市場
京城日丸市場
本日は元山物が筆頭に仁川鍼群山鯛取合せ可成りの入荷あり たひ二八▲さはら二二▲ずゝき一六あぢろ一五▲はも二〇▲さば二▲にべ一〇▲ます二二▲あはび五〇▲ふか九
◎釜山水產市場
▲水揚高七百四十四圓十五錢▲六十一隻▲たい三十圓▲あわび二十圓▲ひらめ十圓▲ぐひ八十圓▲いひだこ三十三圓▲たこ十一圓▲めばり十二圓▲はも十五圓▲さ八圓

仁川期米
▲二十三日後場（新規賣買停止中）
▲第一節　大阪今前場一節二十九圓〇九錢二節〇八錢三節〇六錢四五節〇一錢六節十錢七節〇六錢八節二十九圓丁度九十節八圓九十九錢東京八圓三十九錢跡同事止四十四錢の入電に接したり當地中出來不申
▲第二節　中先共に出來不申
▲第三節　中先共に出來不申
▲第四節　中先共に出來不申に散會
▲引跡大阪後場一節二十八圓九十二錢二節九十三錢三節九十四圓〇九錢四節五節十錢六節〇九錢東京二十八圓二十三錢より九錢止めの入電に接したり

仁川米豆取引所仲買人　仁川濱町　㊀サ　齋藤榮之助　電話長三二・一七・三六九　符號（サ）又ヤ

仁川米豆取引所仲買人　倉重商店　電話三三〇・三六

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　今村覺次郎　電話長三三一・三二番

々高値あるに反し當米筋全部見送りな出口も昨今京角買進み適意の傾向あり釜▲鮮倒の入報と共に氣勢鈍く昨日に比し三四十錢方安く氣配を呈し取組皆無に終りたるか朗は三十四圓六十錢見當ならんか
▲小麥（弱合）　昨日清況を呼びたる本品も荷主が値唱へは買方手控へ未だ氣乘りたる商談之れ無く氣配保合を呈し居れり本日出廻は四百六十叺あり
○木浦米況（二十一日）
▲玄米（强合ひ）　阪地在來薄の爲め一般ならずども尚强氣を脫せざるもの在り幾分買進み來れるも何樣朝鮮汽車賃共一月位向ふならでは積取り不可能なる爲め見送勝ちの所へ昨十一日以來共々鮮人等の買進みの手延び來れるやの模樣あり本日は三等玄三十三圓五十錢て一百叺の取引あり賣物薄の一方旁々にて一般に强含みとなれる傾きあり此の先き大なる昂騰は如何あらんも此以下の安値は最早や現出に至らざるべしと見ゆたり
▲籾（强合）　本日の廻着者二百俵あり八圓九十錢より上物九圓にて出來强分强含みさなれり

釜山（物）市場二十三日
▲正米（引續き無商內）　天候恢復と共に出廻品も相當ある事さて從つて今市場賣り物さしあば買人なき丈け氣配甘く一面米主が主だちたるも何樣際だちたるは依然として精米口よりの補充至極閑當の狀態なり一方買手み立の品のみなれば成行相場に應じ難き感あり兎角本朝は賣買者双方意向懸隔の差異甚だしき側も目下廻著尚未は大概高値掴かにありて只一個の商取引も行はれず相場は變らず保合なり

二十四日前場
（新規賣買停止中）
▲第一節　中止來不申先二十六圓六十錢にて⊕買⊙買にて六百石新太賣買二千石の解商內行はれたり
▲第二節　中先共に出來不申
▲第三節　中先共に出來不申
▲第四節　中先共に出來不申
▲第五節　中先共に出來不申に散會
▲引跡大阪前場一節二十九圓〇八錢二節〇五錢三節〇一錢東京二十八圓〇六錢と入電に接したり

市場雜觀
▲昨後場は大阪前場一節二十九圓〇九錢と同事寄付き二節〇錢と押し六節十錢と返し止め入り九十九錢東京二十八圓三十九錢より四十四錢止め入電にて當地は中先共出來不申に散會したり引跡大阪後場一節八圓九十二錢より四節九圓十錢さ上伸し〇九錢止め東京二十八圓二十三錢より二十九錢止め入電に接したり
▲天候晴天今前場は第一節に於て二千七百石解商石の內別け出行はれ跡出來不申に散會したり立會中各地電報未着であつた立會開始したる大阪の成行も氣迷ひ居る爲めなるか一向變動なく保合を報じ居れり東京も又大阪立會後餘り變動なし▲併し時時なる丈何時變動を報ずるや計難し兩日は追々推移し來り早くも本年の大天災期に入り明十五日は即ち二百十日前七日に當するに至つた年の如き米價騰により意外の大騷動を惹起したる手柄なる丈今後一ヶ月の大天災期を無事に經過し大豐作たらんことを熱望す▲豐作と言へば本年朝鮮に於ける作柄は稀有の好況にて初期以來順調ぶる順調に經過し今後の大天災期も內地に於ける如き危險なく今後は尚さへなくば一般には大豐作疑ひなく鮮方の狀況を綜合すれば二割の增收は間違ひなき者さして昨年よりは約千五百萬石に上り更に五割增收の八百萬石說を爲す者あり時節柄大に賀すべき事である然るに此大豐作を眼前に眺め居るにも拘はらず現下漸境明なるは內地より買物入り込み來る等に因り自然高値を維持し居るか今一二箇月を經過し新米の出廻り來らんか此大豐收の米に壓されて暴落するは當然の成行であると思ふ▲米の高い高いの聲を聞くのも一、二箇月の間である內地に於ける事情も同樣の成行ではあるまいか兎に角前日の騷擾に依り米價大に暴落したりと雖も向寧前の高値にあるのである果して此高値が持續するや否▲兵庫發電大阪今前場一節二十九圓八錢二節〇五錢三節〇一錢東京二十八圓〇六錢さ依然保合たるを報じ居れり要するに眼前大天災期を控へ居るも未だ取組の少なきと大手筋の見送り居り變動少なきも日を送るに隨ひ變動し來るならん

仁川米豆取引所仲買人　志　仲買店　電話二八二・長三八三番　符號シ又（カクシ）

期米賣買ノ委託ハ無代進呈　仁川米豆取引所仲買人　田中金兵衞商店　仁川海岸町三丁目　電話長一一二番

白米標準値
三十八圓五十錢

白米小賣値
一等白米　三十九錢
二等白米　三十八錢五厘

塚原卜傳
第百七十六席　悟道軒圓玉口演

飛驒國吉田郡より信濃國南安曇郡に跨つて玉龍の蟠居るに似たる乘鞍ヶ嶽、山中に周廻三里に餘る大池あり、其水溢れ落ちて吉田川に入り美濃國へ出で、飛驒川となる慶長の七年十二月の二十日の事降り積る雪を踏分けて吉田郡吉田村の村外づれに辿り付きましたる一人の武士がございます、年の頃は二十歲餘り、武藝修業者と見えて身には黑木綿に五り藤の紋付いたる衣服を着し、茶縞の袴裁付にして足拵へ嚴重に鞋緒の草鞋を穿き背に振分の荷物を擔け、柄袋掛けたる蠟色鞘の大小刀を帶し、燧袋を下げ赤樫鉛刄に廓上げたる木劍を二本、青縞子の袋に入れて肩に掛て居ります、色白く鼻筋徹り、眼光凉しく人を射る威風あり、威あつて猛からざる立派な人物絡田川に掛けたる橋の詰に一軒の茶店がある雪國の事でございますから葭簀張りの差掛けではなくチャンと板圍がして風が凌けるやうに出來て居ります、中には老爺が娘と二人でドン／＼火を焚いて湯を沸かし、茶店といつても往來の旅人或は馬方などが食事をするやうになつて居りますからチョツとした煮〆なども拵へ酒も賣つて居ります、ズッと入つて來た右の武士武『老爺許せよ　老『これはお客樣でござりますかエライ雪でござります　武『非常な大雪であるな　老『珍らしい積りやうでござります、此國の名物は雪と熊膽だけだと申しますが三四月頃まではのべつに降つて居りますだ　武『さうであらう寒さにはさのみ驚かぬが雪の山路は步行に難澁いたす　老『御尤もでござりますサアヽ火にお焙んなすつて悠然お休みなせりまし』さ親切に親娘の者が雪を掃つて呉れる、武士は笠を取つて床机の上に置き荷物を下し、火に近付いて暖を取る、娘が茶を汲んで參りましたからそれを受け取つて一口飲み乍ら武『アヽ老爺何か此雪の中でも迷うして茶店を出して居るのか　老『左樣でござひます他の國ちやアどうだか知りませぬが飛驒は山國でございやすから今申上た通り雪はのべつに降つて居りますだで、何でも一年の中半年は雪に包まつて居るやうなものでございますから休んで居る譯には參りませぬ、山へは年中木樵が入つて村木を切つて雪水を幸ひ役に組んで流します其木樵や馬方の足休めに店を出して居る私共でございますから雪だからといつて休む事は出來ねのもで三里ある處から毎日通つて來て店を出して居ります　武『さうかそれは大變だな、イヤ何の商賣でも渡世となると大變なものだ　老『お客樣もお見受け申す處武藝でも御修業なさる御容子でございますがさぞ道中御難儀でございませう　武『イヤ可なり辛いこともあるな可愛い子には旅をさせろと言ふの人が申したさうだが旅をして居ると種々世間の人の心も判り嬉しいこともあれば悲しいこともある面白い事も中にはあるがまア辛い方が多いものだ　老『それはまア言はつしやる通りで、それから見れば俺等のやうに親娘二人で慈うして山の中でも暮して居る方が反つて幸福といふものでございませう　武『娘は何歲になるな　老『へエ十七になりますがまア此娘だけは山の中で年を寄らせたくねえとはア思つて居りますだ、此近邊でもまア親の口から言ふでもねいが小町娘だとか何とか言はれて居りますだで、嫁に貰ひてえといふ者があるが木樵や馬方にやア遣りたくねえ成らうことならお武家樣を壻主に持たせてえと思つて居りますだ、どうでございませうお客樣、お前樣なら上げるだが此娘を女房にして下せやしませぬか、別に能はねえけれど縮子を綟くことは名人だ』詰まらない名人もあつたもの若い武士は驚いて娘の顏を見ると金壺眼獅子ッ鼻で色の黑いやつが赤くなつたから海老茶色の醜い娘

外科一般　皮膚科
泌尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光敎會前
安部醫院　電話四一九番

○大邱と慰問
◇應召者家族に對して◇
大邱に於ける應召兵の家族慰問は去る廿日より愈々開始し當日は大邱分隊より中西軍曹司軍人後援會よりは植松府書記其他の數氏合計九軒の家族を慰問し何れも生活狀態をも視察したるが孰れも强健にて家事を勵み居れりと（大邱）

○指紋で看破らる
◇司法省と司法部の提へ◇
熊本縣熊本市蔚山町二二中村儀一（二こ）と稱する男は過般來擧動怪しき廉の一度釜山警察署にて取調を受けたるも其當時の犯罪もなく放還したるも其後家宅に潛伏して生業もなく居るより再び引致の上司法省及び總督府司法部へ指紋照會中の處同人は柏戶義視と稱する者にして內地にて一犯朝鮮にて三犯都合前科四犯の曲者なる事判明したるが釜山署にては犯罪ある見込にて嚴重取調進行中なり（釜山）

○大邱の米相場
大邱の正米相場は動搖一般落と共に各地買控の型服と見ゆる買注文續々入電しつゝあり且卯天早冷の稻作傘控へに反し移出筋一齊に買進み爲め廿一日より一躍一圓以上の昂騰かニ三等廿五圓廿錢に商談成立したる由されば大邱白米小賣商人は玄米の値上げに連れて白米の値上げをなすも此際不當の値上げに反し白米は前通りの値段で販賣とする處より同日一同集合協議の結果出來得るだけ勉強なる爲し當分白米現金賣り三十八錢賣りは三十九錢に値上げする事に決したり（大邱）

八月廿六日　九星　舊七月二十日　乙己
[illegible]

演藝案內

稻荷座　本町五丁目
浪界壯年家華牛桃中軒雲太郞一座　今回內地にて大好評を博したる浪界壯年華牛桃中軒雲太郞は滿洲巡業を終へ京城に歸り廿三日より愈々開演す
[illegible]

壽座　本町三丁目　電話五七八番
大阪三ニス商會巡業部　當る八月廿四日より一週間每夜七時開演　二日毎に新らしき特別寫眞　京城にて多大の喝采を博したる敎育寫眞
▲大活劇　戀か義務か　全三卷
▲文明の武器　悲壯歐洲大戰亂　其他參考資料最近寫眞
▲身邊の不思議何れに在る　火中の美人　全四卷
其他新派喜劇泰西新奇
辯士　藤野天風　岩崎曉風　林孤狂　伯洲

黃金館　天然色活動寫眞會社京城黃金館一手代理店　電話（晝間）二二六六（夜間）二二七
▼當る八月二十三日より新裝す▲
新派悲劇『母の淚』全三卷
[illegible]
猛炎　全五卷
源平盛衰記　景淸錣引き
連續大活劇　百萬弗の秘密

有樂館　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　電話（南）二五六番
◇當る八月二十三日より公開
米國ユニヴァーサル社[illegible]
◎大喜劇　拳鬪家　全五卷
◎澳竹情話　森の女神　全三卷
◎歸士喜劇　燒かぬ嫁　全三場
◎夢幻劇　力　全五卷

壽館　本町一丁目　電話一〇五〇
[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三
喜活劇『安全第一』五千呎
新派悲劇『霧の雨』全四卷
連續大活劇『秘密の王國』
舊劇『出雲怪談』全三卷

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番
◎八月十四日より開演　東京大阪合同落語大一座
[illegible]

一番よくきく
龍山林藥房製劑の
マラリア特効丸
本舖　京城本町　林藥房
代理店　釜山辨天町　岸天佑堂
同　平壤大和町　黑南海堂
同　森川草藥堂支店

こうすれば毛が生へる

[illegible]

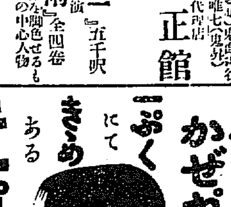
純良清酒
金露
大塚合名會社京城支店　京城南大門通二丁目

くだりはら　下痢
腹痛に

健胃固腸丸
直ぐ氣持良く止り腸胃を强健にす
本舖　大阪伏見町　谷田春堂
○各地藥店に販賣す

月やく
親切にお相談
りん病
森田屋

一番よくきく　かぜねつさまし
きめあるにて一ぷく
キナピリン



本舖大阪　高橋盛大堂藥局
○各地信用ある藥店に販賣す

大阪商船出帆
[illegible]

日本郵船出帆
[illegible]

共同汽船出帆
[illegible]

朝鮮郵船出帆
[illegible]

汽車
京釜線（南行）　同（北行）　湖南線（南行）　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）
[illegible]

京城日報 第五版

[illegible]航路開始の目的は戰時中に於て和[illegible]に輸送及び經營等なり而して[illegible]航路及航路は第一(幹線)を神戶新嘉坡に、ボルネオ線は勝浦丸(新嘉坡三十[illegible]二十頓)を配し新嘉坡サラワク[illegible]に一回寄港、第三線は二箇月に一回、[illegible]同定期とし貨物輸送の[illegible]

[illegible]一仙半と定められ必要缺くべからざるもの以外は其の使用を禁じ[illegible]の場合にありては聯合國の[illegible]

[illegible]日本に對して貨幣鑄造目的の爲に輸出せり政府は目下一オンスに對し[illegible]パラジューム一オンスにして[illegible]

[illegible]戰亂發生後船舶管理令制定以前に於て英國よりの註文により我國船[illegible]渡を承知の上引渡しを了したるは[illegible]

[illegible]の爲め自然延遲を遡延したるもの四變あり然るに今回漸く英國より鐵材送附の通牒ありたるより船[illegible]到着を待ちて急速に製造する筈な[illegible]

其の意味を無にし假令[illegible]を受くるも幷は單に賣買契約に止り船舶讓渡の義務を伴なふものにあらず(東京)

▲[illegible] 廿七日 廿八日
▲[illegible]『經濟會をかけて』 廿八日 廿九日
▲一日[illegible]『[illegible]』 廿九日 三十日
▲下[illegible]『天高し』 三十日 [illegible]
▲[illegible] 一日 二日

▲投書は一週間以內に[illegible]投書者には五十錢[illegible]す但何番何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局[illegible]

個性と國民性(二)

文學博士 [illegible]氏講演

[illegible]と云へば說は違つても大體の觀念は其の個人の持つて居る性質と云ふべきものである。其の個人に特別な性質であるから其人の一切の性である。國民性と云ふことも國民を一つの個體と見て全體として其國民の持つて居る性と云ふことになるだらうと思ふ。即ち日本の國民性は何うだと云へば日本の國民は全體として斯う云ふ性がある、斯う云ふ特質があると云ふことが即ち國民性と云ふことになるだらうと思ふ。故に個性と國民性とを比較することは必ずしも全く理由の無いことでは無からうと思ふのである。然うして若し此の個性と云ふものに四つの種類があると云ふことが出來るならば、而して其四つの種類には夫れ〳〵長所も短所もあると云ふことが云ひ得るならば、それを推し擴めて國民の內にも四つの氣質に相當するやうな譯があつて其四つの氣質に相當するものを全體として持つて居るのではあるまいか、斯う云ふ考へ方に依て話を進めて行つて見ようと思ふ。其四つの氣質とは何んであるかと云ふ改めて申す迄も無いことであるが普通之れを多血質、黑膽汁質それから膽汁質粘液質之を四つの氣質と云ふのである勿論之は純粹な形として假に之を取出して云ふのであるから、實際からいへば總ての人が此の內の二つ若くは全體を持つて居るのであるが、只其內の特に著るしい所の性質を拔き出して彼の人は膽汁質の人だ、彼の人は多血質の人だと斯う云ふのである。で私の夫を國民性に應用して考へると云ふのは、彼の國民は多血質の國民だ、彼の國民は膽汁質の國民だ、斯う云ふことも云ひ得るではないか、といふのである。さうして吾々人間としては、即ち個人々々としては何等かの氣質が著るしく顯はれてゐると同じ樣に國民としても何等かの著るしい氣質があるだらう、吾々日本國民としては又何等か特別な氣質が有て長所短所を持てゐるのであらうと云ふのである。其內の第一の多血質と云ふのは何う云ふ特色を持つて居るか、何う云ふ形があるかと云ふと所謂血が多いと考へられる所のものであつて、血の環りが速いことになるのだから氣が早いふが先づあつさりして居つて氣の早い人だらう之を或學者に云はせる感情上の特色としては其の感情の動き方は早い、併しながら深く根抵を持つて居らぬからして直に忘れる、直に泣く、直に笑ふ斯う云ふ種類のものが此の多血質の性質であると云ふのである。此の種類のものは年齢に之を當箝めると子供に多く見ゐる。子供は生理的の關係よりしても血液の循環が早い、從つて脈搏も多く總て此の早いと云ふのが異なつて居るのである。即ち直に感ずる、速く感覺を使用したりすることが特色である。併しながら深く考へると云ふことは出來ぬ。又靜かに考へると云ふことも出來ぬ。

東部西伯利の最近經濟界

森哈爾賓商品陳列館長談

最近東露に於ける經濟狀態は日に日に物質の缺乏を來し大商店の多くは全く店舖を閉鎖して居るか若くは

▽貧弱なる商品を以て販賣の數量を制限してゐる。又小商店の多くは密輸入品又は贓品を販賣して居る。此不秩序に加へて爲替禁止、輸出入禁止、交通遮斷並に各地方工業の大不振、農事の不完全等のために殆ど物資の補充を爲す能はず日に日に慘狀を增しつゝある。目下は既に主要食料品の缺乏をも來し將に饑餓に迫らんとしてゐる。斯の樣な窮境に在る東露地方の各主要業務に就き類別して聊か說述して見よう

東露の人口二百萬の內で農牧の業に從事してゐるものは八分以上を占めてゐる、是を以ても東露地方に於ける農牧業は其主要業であることいふ事を知るに足るであらう。然しながら

▽其開發の幼稚な事といつたら言語に絕たものがある從つて平時に於ける穀類の不足量は年々三百五十萬布度に及んでゐる。其不足量は輸入を仰ぐより外はない。黑龍江州に於けるゼヤ、ブレヤ兩州間の耕地の農作は東露地方最上位にあつて年々地方の需要に千萬布度餘の過剩を示してゐる其の他の四州に於いては烏蘇里地方とセレンガ地方を除けば洵に微々たるもので該州の需要にも年々一千三百五十餘萬布度の不足を示してゐる。牧畜は後貝加爾州を除いては未だ著るしい發達を見ない爲に東露地方に需要する肉類は多く山東蒙古及び朝鮮等より輸入せられ其の數は年々

▽一萬八千餘頭に及んでゐる事に於てすら斯の如くで他に其の供給を仰がなければ直ちに住民の生活に差閊ふる事になるに況んや今日の擾亂期に於ては其輸入殆んど杜絕して居るのみならず從來の農民の多くは過激派に化して本年の作付を減少ならしめてゐる爲め其不足の度は頗る甚だしく、普通の麵麭を得る處は稀であつて多くは馬の糧食と同じ樣な黑麵麭に依つて僅に飢を凌いでゐる地方が多い。特に北部貝加爾州並に黑龍州の奧地方の如きは播種用の種子さへ得る事が出來ないと云ふ程であるから本秋期に於ける收穫の減少は想像以上であらう幸ひにして密輸入の多い爲に、今日の

▽慘狀の儘て濟んでゐる譯である。商業に就ては千九百十三年の浦港に於ける輸出額は二千二百六十四千萬留で輸入額は五千五百九萬留である合計七千七百七十三萬留であつて平年の該地方に於ける輸出入は此程度である然るに、千九百十六年には歐洲の大戰亂で需要する大貨物の輸入が多かつた爲め七億九千六百八十一萬留に昂上したのであるが本年に至つては殆ど其輸出入を見ない狀態に陷つたのである。過激派の跋扈は市況をして不秩序不安の狀態に導いたのである。黑龍江の航行船舶は是に依つて自由を失ひ輸送を絕ち鐵路は常に故障を起し

▽貨物の移動は殆ど絕え爲替業務は商行爲中止のため中絕する等實に沈衰を極めてゐる。工業は其幼稚なる事は平時と雖も殆ど論ずるには足らぬがセメント製造所、麥酒製造所、製粉所などは多少見るべきものがあつた、然るに今日に於ては、過激派の占領に歸して、其不秩序は言語に絕する程濫用を徹弱にしたのである。鑛山及び山林は未知數のものが八萬以上であつて目下從事してゐるものは其二三分しかない、其二三分のものだけでも夥く可き富源を現はしてゐるのである。金は多く砂金として現はれてゐる。千九百十三年の採金量は沿海州が百二十三布度、黑龍州が

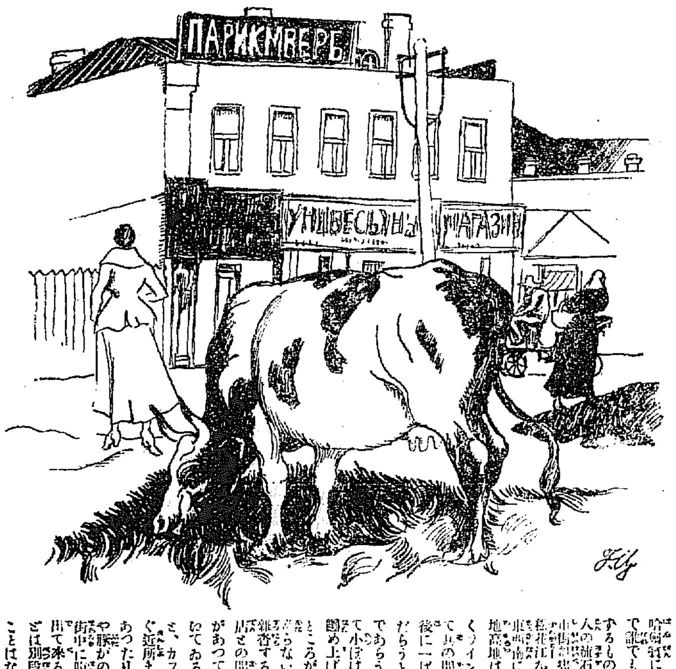
▽三百六布度で貝加爾州が二百五十一布度で其他のものを合すると實に七百五十二布度である。而も是は州廳の統計に表れた處の數であつて此他脫稅するものや盜採して密輸出する者の數量を合算する時は二千布度に上るのである、現在過激派で無い各坑主は殆ど放逐せられ無經驗なる過激派のものに依つて無茶苦茶に採掘せれてゐる爲めに採金量は平時の三分の一にも及ばぬ程顯著の減退を見てゐるのである。石炭の產出も亦甚だ多いとはいふけれ共千九百十三年度に採炭した主なる坑はタラバカダイ附近に於けるテキユコーフ炭坑、烏蘇里地方に於ける蘇城、三十露里、紀芬、マンガイ等であつて

▽其總採炭量は三千三百萬布度であつた、然るに現時過激派の手に歸してから其採炭量は漸次千萬布度に足らないのである、鉛、銀及びタングステン等の諸鑛も漸次其採掘量を增加して居たのであるが現下は殆んど皆無の狀態となつてゐるのである。此外、探鑛しないものであつて其擴布の著大なものは銅、鐵、岩鹽等が主なるものである山林業の有望な事は其課稅收入が年に約百萬留に上るのを見ても明かであるが是とても目下は全く濫伐に放任して課稅の樣なものは不秩序を極めてゐる

哈爾賓畫報(一)

街上の牛

鶴田吾郎



哈爾賓に遊んだ者で誰でも最初に感ずるものは露西亞人の舖石に大きな市街計畫である、松花江を北にして東南に擴げた小高地は造作もなく、ウインを引ばつて其の間へ何十年後に一ぱいになるだらうといふ考であらうが、決して小ぼけなものに纏め上げ樣とする處が手ん手見ならない事である雜沓する商店と商店との間に水溜りがあつて水草が生えてゐるかと思ふと、カフエーの直ぐ近所まで草原があつたりする、牛や豚がのこのこと街中に腹を肥しに出て來るところさなどは別段不思議なことはない。

鑛山の成敗

素人鑛業家に警告す 尾山直治

(氏は鑛業技師として現に久原鑛業株式會社京城出張所調査係の職に在り)

余は多年鑛山調査に從事し居れるが常に慨嘆に堪へざるは素人鑛業家の失敗者多きこと是なり而して是が爲め犧牲する所獨り本人一個の損失に止らず延いて社會に於ける鑛業界の信用を失し間接に斯業の發展を阻害するに至るべし余は此の失敗原因を當事者其人を得ざるに因ると斷言するを憚らず以下其理由を略述し聊か世人の參考に資せんとす

鑛業は冒險事業なりとは過去の誤謬に屬し其の然らざることは最早專門家の等しく認むる所なり余は之を商業に比し寧ろ安全にして農業の經營と著るしき相違なきものと信ず今茲に新發見の鑛床露頭を未開墾荒蕪地と對照せんに此の露頭は探鑛の價値ありや否やを研究する爲に其地質鑛床を調べ『サンプリング』をなすは荒蕪地に於て面積を測量し土質の分析を行ふに類似し探鑛の價値ありと決し探鑛作業をなすは恰も荒蕪地の土質を窮め種々の試作をなすと同樣にして探鑛の結果經營の見込なしとし又は試作の結果營利經營に耐へずとし斷然之を廢棄すべく若又經營の見込立ちたりとせば宜しく適當の方法によりて經營をなすべきものなり而して是迄の費用は其經營に耐ふるや否やを確定すべき調査費なれば經營の見込なしとするも全く無用といふべからず即ち之を換言せば專門の技術者により調査研究の上適法の一般經營をなさしめば決して失敗せざるものなり蓋し專門技術者が探鑛、採鑛及び選鑛殊に貧鑛處理に若しくは廢鑛の利用其他百般の良法改善を遂行し得べければなり然るに素人經營の鑛山作業を見るに最も肝要なる技術者其人を缺くが故に探鑛の價値なき山を探鑛し經營の價値なき山を買收經營し素人が素人を當事者として使用するが故に根本より其施設方法を誤り凡て無茶苦茶にして一日其危險と失敗を豫想さるゝもの多く誠に氣の毒に禁へざるなり斯かる場合先方より意見を求めらるゝに對し勸告又は善策を獻じたること屢々あり又經營に耐ふる山を經營するに當りても其採鑛適法を缺き營利經營に耐ふるものを缺損し又は多額の利益を得らるゝものゝ薄利に甘んじて經營しつゝあるもの數多からず此等の事實は內地にても屢々目擊するところなるも特に新開地たる朝鮮に於て頗る多きを認む斯の如き失態は皆此れ當事者乃ち適當なる技術者を得ざるに基因するものなり之を要するに一山の成否興廢は一に當事者の手腕如何に存す當事者の選定亦重大なりと謂ふべし

抑も何れの事業たるを問はず其要素は一、貨物其物の良否二、資本の有無三、當事者の適否にあり就中余は第三項の當事者の適否に重きを置くものなり何となれば一項の貨物乃ち山其物の可否は三項の當事者に依りて選定さるゝものにて又二項の資本は一項の山其物が善良なりとせば其融通亦容易なればなり素人の鑛業を營むや適當の技術者を選ばず僅かの高給を惜みて低給の素人多數を使用し遂に如上の失敗を招くは愚の至りならずや現に鑛業を營みつゝあり又は新鑛業家たらんとするの諸君にして余に向ひ『貴社の經營過小なりと認めらるゝ山にて小經營に耐ふるものあらば知らせ吳れよ』といふ者あり余は朝鮮總督府鑛務課及び鎭南浦製鍊所の買鑛增加の目的よりして斯る希望者をして小山の開發をなさしむることに贊成を表し可及的之が援助をなさんとするものなりされど余は斯かる希望者に對し『鑛山を探すより先づ適當なる技術者其人を探せ人を得て後鑛山を求めよ』と謂ふを常とす

定價 壹ヶ月七拾五錢 ▲參ヶ月前金貳圓拾五錢 ▲六ヶ月前金四圓貳拾錢 ▲壹ヶ年同八圓拾錢 ▲[illegible]
廣告料 五號十五字詰一行[illegible] ▲[illegible]
發行兼編輯人 奧田直[illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 [illegible]
振替 京城三〇〇番

● 開業に際して

親愛なる京日の讀者諸君

玄對 藤井百太郎

私は試みに諸君に向つて、こんな事を聞いて見たい『此の世の中に、恐く鍼灸の效能を持つた療法があるでせうか』と斷じて有りますまい、事實に於て世には各種の療法が存在してゐるのでも、それが了解なさせう即ち病にも多種多樣あるやうに、治療の方法も多種多樣であるから、そこで**病氣に因つて**治療の方法を選ばないと。輕症も遂に大事に至るのであるが、世には**治療家の選擇**に意を注かず、或ばその**選定を誤り**甲法に因つて治療するに利あるものを、乙法に因つて治療したりして、永く病床に呻吟してる人が決して尠少ではなからうと思ふのです。私は是れを非常に歎然の至りだと思ひ、早く此の誤解を去らしめたいと思ふ老婆心から、數年が間精神修養論、身體健康論、醫術鍼灸論の著述に沒頭して居たのです、それが爲めに今日迄は、特に紹介のある人のみの治療をやつて居たのですが、頃稍々大略完結しましたので、今回**本町三丁目**(記料の隣)に**濟生堂鍼灸療院**なるものを開業して、一般の治療の求めに應ずる事と致したのです、然し幾程鍼灸が病に効能があると云つた處で、總て治療には各々其の範圍があるので、決して萬病に効能があるのではないのですから、折角御出下さつても、**病に因つては治療を斷然謝絕**致しますから、其の時には惡しく思はないで下さい、要するに私は、自分の範圍以外の治療は決して犯さないと云ふ、一つの主義の下に立つて、**鍼灸の眞價を早く世に徹底**せしめたいと思ふ私の微衷から、貴重なる紙上を簡く汚したことを茲に與々も諸君にお詫して置きます。終りに臨んで吾親愛なる數萬の京日の讀者諸君の御健康を祈る。

料理の友

九月號 出來 (美麗なる彩色畫 菊版四百餘頁 揷畫二十餘葉入)
日米婦人の戰時比較(東京 [illegible])
新らしい食物の研究 化學現象の消化劑の話(三宅博士)
七輪の家庭 (日本婦人の美食 [illegible])
炭との[illegible] 家庭料理の新(塚本女史)
▲殘暑の客に即席酒肴料理 ▲拾錢前後で西洋一品料理
◎通人の喜ぶ初秋の會席獻立 ◎樂しい夕飯の[illegible]
▲萬人に持囃さるゝ冷めたい料理 ▲新芋類の新案料理
◎觀月會に好適(?)洋食の獻立 ◎大人も子供も喜ぶ南瓜のパイ
▲出來合品で家族五人樂しい月見の會 ▲一皿五錢の惣菜
▲滋養と經濟の蜂蜜の食用法 ◎安價で滋養ある乾鰊の料理
▲強壯一人一日拾九錢で營養ある家族五人一週間の獻立
▲京阪の港で拾ったドーナット饅頭 ▲風雅及彼岸の配り物
一册 金二十五錢 [illegible]
東京上大崎中丸町(振替東京二九八六) 大日本料理研究會

東京製帽子卸專門

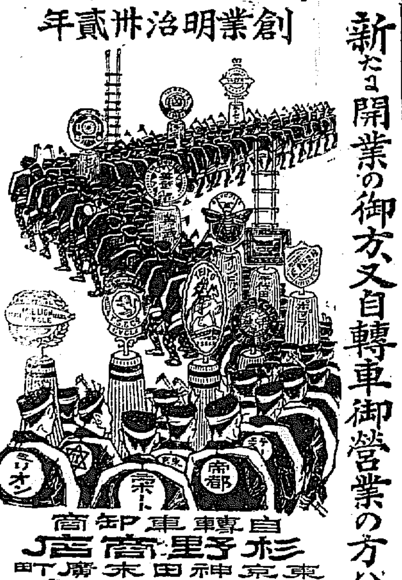
冬帽子
新形多物全部荷揃
多少に不拘御引立の程願上候
本店 東京市日本橋區馬喰町四丁目 山脇製帽所
京城府漢江通八番地電話一三三番 近江屋 山脇帽子問屋

開業廣告

今般朝鮮總督府醫院副醫官ヲ辭シ左記住所ニ醫術開業仕リ候
京城太平町二丁目七十三番地
片山內科醫院
電話一九五一番
片山信夫

京畿第一部地方係編纂
民籍 居住 印鑑 法令例規集 全
菊判洋裝 紙數約四百頁 日鮮文
●定價金三十五錢 郵稅無料
右一千部限り右特價販賣仕候間至急御注文あれ
但し郵券代用は堅く御斷り申候
發行所 京城太平通 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

江戶の花尚納め
創業明治卅貳年



東京製自轉車に依て絕大なる信用を博し交通機關の公益を計り被下度候
新たに開業の御方又自轉車御營業の方ハ(意匠登錄)
自轉車卸商 杉野商店
東京神田末廣町 電話下谷二八五一番 振替東京四八七七番 郵便私書函神田局四拾番
"C.A." "DAIMILLION" TOKYO

新家庭

九月號

お待ち兼ねの新家庭九月號が出來ました。數の多い婦人雜誌中での『女王』との定評があるだけに、外觀に於ても、內容に於ても、其立派なことは他の雜誌で之と比ぶものがありません。眞に日本一の婦人雜誌で御座います。僭越ながらも編輯者もさう自信してゐます。又其代りに不斷の努力も致してをります。

表紙は本號から田中良氏筆油繪原色版の東京新名所に致しました。額面用十二色刷の貴婦人似顏(深水氏筆)の口繪もあります。新築の學習院女學部スケッチ十二枚もあります。寫眞欄は態々、社員數名が日光、鹽原、伊香保、濱寺などに出張して避暑の貴婦人方を撮せて頂き舶來光澤紙四十頁に滿載致しました外に、新聞的價値ある時事寫眞や英國印刷局から特に每月寄贈下さる歐洲戰爭寫眞等、鮮明な寫眞がウンと載つてをります。

本文では猶更精選を加へ、特に每號に亙る諸大家の政治論や戰爭論は、現代日本婦人にとつて必讀の大文字です。其他下田先生の古歌新釋や鳩山先生の自敍傳、岸上博士のお臺所動物學や岡野先生の米食の節約法、安達先生の盛花や淺江先生の流行談、貴婦人のお噂、狂熱的歡迎の女學校通信、小說では渡邊霞亭氏の短篇と北島春石氏の長篇、飜譯の戰爭小說など興味津々たる記事が百餘頁に滿載されてます。ぜひ御購讀下さいまし。

東京市芝公園九號地 振替東京一四一七七 [illegible]
▲一部定價三十五錢 ▲送料二錢五厘 ▲六部前金送料とも金二圓〇七錢

營業品目
綿糸綿布 色織物類 砂糖麥粉
◎朝鮮各驛內地直積砂糖は拾俵以上麥粉は九拾袋以上より原價引受用荷可仕候精々御注文被下度御願申上候
(う)
京城府明治町二丁目
松前商店京城出張所
電話(長)二六三〇番 電略(ウ)又ハ(ウ) 振替京城五三六三番
○本店 大邱本町 ○出張所 釜山本町 金泉本町

◇國際評議會創立

國務省の發表に曰く、聯合國は露國に二個の國際評議會を創立する事に決したり其一は是をアーチアンゲルに置き米大使フランス氏を其長とし、他は是を浦鹽に置き松平氏日本を代表しレギュノール氏佛國を代表す可しと（合同通信）

◇米國國旗委託

華盛頓政府の發表に據ればペトログラードに於ける米副領事イムブリー氏は同領事館の米國旗を引下し是を諾威公使館代表者に託せり（合同通信）

◇米航空省創立提議

米國航空委員會は愈々航空省の創立を提議し討議の熟せることを報告せり（合同通信華盛頓電報）

◇廣東政府承認乎

米國政府は廣東軍政府を承認せん意嚮なるが如し（北京電報）

◇最近獨俘虜十萬

エコード巴里紙の計算に據れば七月以來聯合軍の得たる獨軍俘虜は十萬に達せり（合同通信巴里電報）

◇佛軍ラシニー占領

佛軍はサンボルトを越えてエーレットに到著しセンピニーとブレチニーとの間に於てオアーズ河に到達せり同時にラシニーを占領せり（合同通信）

◇佛機敵機撃落數

佛國公報は七月中佛軍飛行隊は敵飛行機を聯合軍戰線内にて四十五臺敵戰線内にて百卅九臺を撃落し尚敵の偵察輕氣球四百四十九球を燒き千六百六十五回敵地を襲撃し爆彈五百噸を投下せり（國際通信倫敦電報）

◇獨軍逆襲猛烈

獨軍はアンクル河の北方地區に對し猛烈に逆襲し來れり（合同通信巴里電報）

◇久邇宮御赴任

新任近衞師團長久邇宮殿下には御赴任の途次鎌倉御用邸に御一泊廿三日朝八時廿分東京驛御著官民多數の御出迎ひを受けさせられ師團司令部に入り後九段偕行社に御成り師團各聯隊長其他の伺候式あり終つて麴町一番町の御邸に入らせられたり（東京特電）

◇兩總務松侯訪問

政會總務濱口雄幸、下岡忠治の兩氏は二十二日那須野に松方侯を訪問し時局に關し種々開陳する處ありたり（東京電報）

◇亞國公使著京

駐日亞爾然丁公使アルビナ、バグアリン氏は廿三日鹿島丸にて著濱直ちに入京せり（東京特電）

◇釜山穀物調節會組織さる 個人取引中止

若松府尹は二十三日午後釜山府樓上に於て穀物貿易商を集め朝鮮米の内地移出に關し協議せしが殖產局長官より當業者に對し二十二日府尹を通じ目下内地は米價不足にて朝鮮米の移入を大いに歡迎し其筋下關市役所よりの註文に據り二千石の白米

▲移出を契約したる等の爲め總督府にては益々移出に手加減を加ふるの必要を感じ此旨當業者に傳へ懇談すべしとの内命あり、當業者は當局の内意を諒察し殊に當市は鮮米大市場として全道の相場を支配するの地位にあることなれば大いに愼重審議を凝したるが之れが實行に關しては意見區々にして容易に纏まらざりしも遂に大體の方針一致し、當業者は更に會合協議の結果、五島氏の提議に係る移出米共同販賣は實行困難なるべきも

▲各個に註文に應ずるに於ては相場の吊上げらるること必然なりとて意外の高値に取引するは此場合望む處に非ざるも註文に應ぜざる場合は休業同樣となり斯かる狀態を以て新穀出廻り期迄持續するに於ては多大の損害を釀すべく依て輸出組合員一同異議無く『釜山穀物調節會』なるものを新に組織することに決定したるが其目的たるや總督府の内命に基づき移出米の數量價格（今日迄の契約の分も含む）を同會に於て決定し

▲取引豫約を爲さんとする者は必ず同會に屆出で絶對に個人の取引を中止せしめ以て相場の狂騰を防ぐことゝなりたり。而して右調節機關設置の爲め新に役員（十一名）輸出商及び穀物商より選任せられたり（釜山電話）

◇辭令

二十四日左の通り辭令ありたり（東京特電）

總督府技師 花野彥三

陞敍高等官三等敍從五位

◎吉長運輸規程

屢々改定を傳へられし吉長鐵道運輸規程及旅客貨物賃金表は愈々改正され九月一日より實施のことゝなり以前制定されたる一切の運輸改正規定は同時に廢止さるべし而して改正規定は大體に於て南滿鐵道の運輸規程に則りたるものゝ如く今旅客として必要の點を拔萃すれば

一、六歲以上十二歲迄の小兒は半賃とす

二、夏季冬季の休暇に學堂の證明書を有するもの十名以上二三等にて往復するものは賃金三割減とす

三、手荷物の無賃制限重量は一等一人百二十斤、二等一人九十斤、三等一人六十斤、乘車賃金半減の小兒に對する制限重量は半額とす、制限超過重量は五十斤を最低とし最低計算噸は十五噸とす

四、手荷物として、託送し得ざるものは爆發物發火し易き物危險を生じ易きもの、臭氣を發し或は不潔なるもの一個の長さ十尺以上又は重量三百斤又は容積四十六萬方尺を超ゆるもの、一切の金銀有價證券紙幣貴重品、損し易き品物、動物、車輛

五、重量の計算は百六十匁を一斤とし百斤を一擔十六擔八十斤を一噸とす（英斤二千二百四十封度）

六、車輛より長き木材等の長尺物にて一車に積載すること能はず、他の車輛を連結して積載したるものは貨物の等級により該車輛積載噸數の三分の一の割增貨金を徵收す

七、重量品は該貨物の等級により左の割增貨金を徵す但し一個につき千斤以上二千五百斤以下三割、千斤以下六割、七千五百斤以下八割、一萬斤以下一倍、一萬斤以上は臨時の約束による

◎米國の飛行郵便

遞信局監理課長 矢野義二郎氏談

內地に於て飛行郵便の問題となれる際遞信局に矢野課長を訪ひ米國の飛行郵便に就き談を聞く、氏は米國の事情に精通せる人なりたる所なるが前提して左の如く語れり

▲戰爭と通信 戰爭の勝敗は兵の强弱多寡及び武器の優劣によるのみならず通信機關の利用の巧拙によること亦少からざるを以て戰時及び戰後に於ては通信方法の發達せる類例少からず普佛戰役に於ては或は傳書鳩を利用し或は輕氣球を使用して通信の連絡を計りしことあり又日露戰役中には海軍にて無線電信の利用盛んなるものなりき今次の歐洲戰爭中には飛行郵便の利用せらるゝこところ少からず戰役其利用の盛んならんとする傾向あり今米國に於ける紐育ワシントン間の飛行郵便に關して述ぶる所あるべし

▲速力と料金 本年五月十九日の實驗に依れば紐育ワシントン間の飛行郵便は一時間九十五哩の速力を維持し得たりとのことにて紐育華盛頓間は途中フイラデルフィアに立ち寄るも猶三時間餘にして足るものなるも急行列車なることは約五時間を要するもの也料金に就ては目下米國にて紐育フヰラデルフィア華盛頓間のみに飛行郵便の發著あり其料金は一オンス二十四仙（我四十八錢）にして不廉なるが如きも飛行郵便は宛名地に到著の際は直ちに別便配達に附せらるゝを以て普通郵便を別便配達料を以てするに比すれば僅に十一仙丈高價なるに過ぎず、

▲開始當日の狀況 第一回の飛行郵便にて遞送せし郵便物は二千四百五十七通（百四十四噸）にして開始當日の紐育の出發點はロングアイランドのベルモントパークなりしが同處に今後飛行郵便停留場として確定せらる、管理となり又第一回の飛行郵便の名譽を得たるものは陸軍飛行將校のトリーエチウエツブ中尉なりしと云ふ同日は第一回飛行の狀況を觀覽せんが爲め來集せし名士少からざりし由なり

▲飛行郵便の將來 米國政府は目下紐育フヰラデルフイヤ華盛頓間に飛行郵便を實施し居り天氣都合さへ好くば毎日飛行することゝなるが近々紐育ボストン間にも飛行郵便を開始し漸次其他の地方へ擴張することなり將來各重要都市間には郵便飛行通路なるものを設けらるゝに至るべし右の外佛國にても飛行郵便を開始せることは數日前の新聞電報に掲載ありたるが其詳細は他日述ぶる機あるべし

大阪より

▲堂島白米廉賣 堂島米穀取引所仲買委員會の主唱に係る同所白米廉賣は其後準備著々進行しつゝ愈々二十一日より當分の內內地米に限り一人五升宛一升に付二十八錢替にて賣所を堂島商業補習學校內に設け百石位を限度とし向ふ二十日間賣出すべしと因に朝鮮米は來月二十五六日頃賣出し開始の運びに至るべし

▲千牛蒡好調 千し牛蒡は一般の需要餘り多からず從つて市價も格段の變化なきが例なるが最近時局關係にて特殊の需要を喚び目下減切れ調を呈し昨年十一、二圓見當を唱へられし十六貫入一叺は昨今十四圓見當に騰して二十六七圓にて大口商談行はれつゝあり凍豆腐も月を追ひ上進の氣勢を見せ

▲肥料相場手堅 米價の低落より肥料相場は人肥と伸肥とを問はず一齊に暴落を演ずるに至りしが騷擾事件の下火となると共に十七日より開始せられたる神戶の豆粕場は八月物五圓八十錢は九月物五圓十錢と保合を示し居たるが碗安一二三月物は三百七十八圓三三圓方引締り東京に於る碗安相場も亦手堅く一二三月物二百八十三圓にて相當商內成立し鳥渡手堅物によりては期々品拂底を告ぐるに至り千早物中形千切十一圓臺を示せり

▲玩具輸出不振 時局勃發從我國の玩具は獨墺品に代り英國品等の代用品として南洋及び北米合衆國等に向けて多額の輸出を見るに至りしが今春米國政府の輸入禁止の爲め例年なればクリスマス用として昨今出荷多數を算すれど本年は殆んど閑散にして昨年取扱高に比し平額にも充たざる不況を呈し居れり

▲疊表好況 疊表新物は那須市場に出廻りつゝあるが原料草本年の作柄に就ては品質概して佳良なりしが諸物價高就中肥料の暴騰は著しく產地に打擊を與へ植付値段は例年より四割方の減少を來したる關係にて市況日を追ひ騰勢を示し相場は古物に比し二割高値にあり賣行却々旺盛を極め居れりと重なる標準相場左の如し 備後表（十枚）六配上二七圓五〇六配下二一圓〇〇備前（同上）中選上八圓二〇中選下七圓一〇豐後（同上）城下六圓五五累谷二〇圓

▲刷子と盆好況 刷子界は註文益々多く入込み來れるが生產能力は之に伴なふ能はざるの狀況にあり常に註文に追はれ勝ちなるに職工の缺乏率の減退を加へ昨今頗る繁忙を極め居れり原料セルロイドは相場依ち合の姿にて豚毛のみ依然ヂリ高を示し居れるも輸出は徐々活況を呈しつゝあり

▲砂糖東硬西軟 砂糖界は東京筋の焦れに當地分密八九物十四圓九十五錢の高値を叫びたるも反動安に十四圓丁度と低落し市況混亂たりしが瓜哇物は價格制限確定と東京依然强硬にて八九物二十圓賣物なしとの報に二十錢方引强合み居れるが東京の斯く騰るは旗賣りの一掃を唱へ居れるは旗賣りの一掃されざる爲め月末切迫と共に買埋にすべきを豫想せるもの也と（大阪支局）

◎殖產銀行進捗

▲行規略終る 朝鮮殖產銀行の行規類は幹事中村光吉氏主となり立案編成中にて既にその大部分を終りたりとの事なるが行內の組織は鮮銀の如き局課制によらず多分部の制度によるべき模樣なり尙之等の行規類は頭取就任內定せる三島太郎氏の九月中旬歸鮮後當務委員會を開きて決定すべしと

▲創立總會期 殖產銀行の創立總會は十月一日總督府施政記念日が各銀行共臨時休業に相當するを以て當日漢湖農銀に創立總會を開く事となるべく同日を以て各農工銀行は解散し其業務を舉げて殖產銀行に引繼ぐ事となるべし

◎正米市場成立

正米取引市場開設の目的を以て成れる京城穀物商組合は本月廿日創立總會開催の豫定なりしも米價問題勃發の爲延期を來し居たるが愈々來月五日共進社に於て創立總會開催に決定せり而して該組合成立と同時に在來の組合を解散すべく新組合長には現組合長高野省三氏副組合長には大田富次郎氏及び鮮人一名就任に略內定し居れるも右の如く評議員には執行、竹中、小山、今村の諸氏及び鮮人若干名選任せらるべしと

◎燐寸製品好評

仁川松林里に工場を新設せる朝鮮燐寸株式會社は夙に其の製造に着手し二十三日當燐寸約三十噸を宮川安州義三浦等へ出荷せるが製品頗る優良市場の聲價良好なりと

◎水銀市況强硬

水銀の工業方面の用途漸次增大し遂つて其需要も著しく激增を示せるが最近同品は產地たる支那に於て高値を現はし米國製は依然輸入困難なる狀態にあり內地市場は自然荷薄を呈し同品市價の漸騰を見るに至れり即ち同品は七月上旬百斤四百九十圓見當なりしも中旬は十四圓高の五百四圓と唱へ從來市價は硬化して本年七月五百五十圓に上昇し昨今手持筋は五百八十九圓乃至六百圓を唱へ居れるが如く但し商談成立は五百八十圓見當の如し斯く同品は昨今近來稀なる高値にて所謂暴騰的狀態にして加ふるに前記の如く產地高と輸送困難とは當分割安物の入荷を期待し得ざるべければ內地市場は今後更に硬化歩調を辿るべき狀態なると共に市價は前途一段の高値を現すならんと當業者は觀測し居れり（東京）

◎全南叺移出檢查

全鮮叺の模範と稱せらる、全南叺が昨年來品質の不統一を來し延いて其の低下を誘致せしめし他道の急速なる進步と逆比例して聲口の盛名漸次に失墜するの虞を生ずるに至りたるが道廳に於ても之が根本方針に就き考慮する處あり、最近は藤本米檢所長をして鮮內各地の實情を調査せしめ施設の利害得失を研究し目下之が立案中なるが如く其內容は不明なれども、先づ道外移出の檢査を行はんとするものゝ如く既に檢査を實行する以上何故に生產檢査の根本に觸れざるかを怪しましむれども現狀の如き成行きに放任して益々不統一の惡果を齎すに比すれば同道叺の爲歡迎すべき施設なりと云ふを得べく其實現の早からんことを希望されつゝあり

◎殖銀拂込み成績

殖銀第一回拂込期日は去る二十日なるが其の成績を聞くに內地は遞延にて未だ之が情報全部到著せざるに付確實ならざれども鐵道振替へに付素より好成績なるべく鮮內各店拂込は優先申込者三名の未拂込者ある外全部拂込濟也と

◎北鮮部隊軍馬檢查

第十九師團參謀長大佐白石通則同獸醫部長三等獸醫正中河原親一の兩氏は本年度將校乘馬及び隊馬檢查の爲め咸興會寧及び羅南の各部隊に出張する事となりたるが一行は來る二十六日龍山出發九月十三日歸著の豫定なりと

◎鑛業登錄（八月十四日）

▲鑛業權設定

金銅鑛 咸南道端川郡道山面 十三萬八千八百四十坪 鄭蘇珪、相正汚、姜時中

金銀鑛 平安北道渭原郡密坪面 八十九萬二千三百七十九坪 椎五郎、天野國一

鐵鑛 江原道三陟郡未老面 九十三萬七百八十坪 澤田興斌

同 咸鏡北道富寧郡下茂山面 七十八萬三千坪 許田一枝

同 同石幕面下茂山面 九十四萬六千坪

同八

◎記者懇話會例會

京城記者懇話會にては二十六日午後七時より本社內來青閣に於て第四次例會を開會すべし

◎片山理事歸京

東上中の鮮銀理事片山繁雄氏は二十六日夜歸京すべしと

◎北青郡參事退職

咸南道北青郡參事金泓國氏は八月十四日附を以て依願免官となれり

人事消息

▲三井榮長氏（陸軍一等軍醫） 廿四日夜入京日の丸旅館へ

▲久德高惟氏（大邱慈惠醫院長） 同上原金旅館へ

▲谷田作太郎氏（東亞煙草理事） 廿四日入京

▲平林武氏（農商務省鑛山技師） 同上

▲山中定次郎氏（山中商會主） 同上

鳥瞰雜俎

日本軍隊が軍容堂々哈爾賓に其足跡を印したのは去十七日の事であつた▲同地露國人などは實に非常な歡待を盡して此の遠來の精兵を迎へた▲其れが又空前の事で長靖の鐵道などは先蒞の第一梯隊に對して暖衣八百領を贈つて歡迎の意を表した▲アリューチンと云ふ一露人は當日日本軍歡迎事務所に駈け込んで來て▲今日到著する日本の軍隊に寄五萬本を寄贈したい▲甚だ少いが何うか分配して下さいと現品を差し出した此の外種々殊勝な事で日本軍隊を迎送した者も澤山あつた▲之れ丈に見ても露人が何れ程日本の出兵を歡迎して居るのかが窺はれる▲滿洲方面に於ては早や朝夕薄氷を見る時▲最う十月にもなると嚴寒が襲つて來る鳥合の敵は尙牙にかくるに足らぬが氣候の爲には大に苦心せねばなるまい▲而し何も國家の爲だ一切を犧牲として奉公を盡すべく國民としても大に之が後援に盡す事を忘れてはならぬ▲英國有名の小說家にトーマス、ハーデーと云ふ老人がある▲最近第七十九回の誕辰を迎へたが老來益々鑒鑠として壯者を凌ぐ程の元氣である▲此翁の言に依ると人間健康を保たんとすれば左の三章を嚴守すれば可いと云ふのである▲一に曰く肉類を過多に喰はぬこと二に曰く酒は少々三に曰く絕對の禁煙▲まあ諸君やつて見給へ之れには大分贊成があり相な

◆斯んな時には 節儉食料

▲一度は粥を [illegible] の旣によりて [illegible] 從來よりも食物 [illegible] 腹に入る時は一合の米の粥は一合五勺の普通の御飯に相當します [illegible] 米を日本米に半交ぜ位にして一 [illegible] 位に味付け飯を食るのも一 [illegible] しても副食物が一同減じられて一人前普通五錢から七錢掛いて出ますが五人の家族では五錢の副食物も [illegible] 蓼を主食物とし一同に七八個食ますがバタは最初の一二個に少量を [illegible] 代用にします今は甘藷が高いが [illegible] て干して置き生姜の無い時の米の [illegible]

一日曜集會

△東本願寺（南山町）二十五日午後八時 [illegible]

最新刊

書名	著者名	定價
天然利用健康增進法	伊藤尙賢	九五
心靈現象の問題	小熊虎之助	一、〇〇
宮と開運	森友道	一、二〇
朝鮮語の先生	甲在朝	一、二〇

京城學堂著 定價二圓三十錢

◎獨逸を中心に

書名	著者名	定價
大正七年度遞信地圖	遞信局	一、〇〇
圖解投入化盛花	十一ヶ月	六〇
實用惣菜料理	十二ヶ月	六〇
サフオ（ドオデエ作）	武林無想庵	八五
日進日義日訓	小林一郎	一、二〇
ゲーリー式の學校	田中吉	九〇

◎朝鮮大地圖 總督府編 折定價二圓縮定價三圓二十錢

書名	著者名	定價
鐵道從事員習字帖	永上	五〇
ペン書韓文習字帖	同	五〇
最新西歐現勢指掌圖	民友社	五〇
漫遊漫言と表はうしろ前		七五
繪本稗史小說第五集	博文館	三八
朝鮮鐵道旅行案內	京城管理局	七〇

京城本町 大阪屋號 電話六四番 二〇八番 振替京城二五七二番

京日案內

▲申込中後途揭載中止の向は料金不返戾 ▲六回以上の申込は特に豫約のこと ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

營業

◎代診一名募集 希望者は至急支局宛履歷書及寫眞を送れ 姓名在京城日報社平壤支局

◎外務員募集 御希望の方は黃金町四丁目一四六中山力へ御來談あられたし

◎金融 七月收の御方へ極秘迅速融通 京城大和町三ノ三二 起本屋

◎獨權ある喫茶店讓渡 附ノ儀南山町三丁目十二番地 電話千百十六番 富喜館まで

◎代診 京畿局生名求用 希望者は至急支局宛申込る可し 姓名京城日報仁川支局

番外

◎運送業に經驗ある人を募る 自轉車に乘れる人 履歷書携帶本人來談あれ 京城蓬萊町一ノ九〇 平田運送店

所主上京中の處昨日歸宅業務に從事す 京城太平町二ノ一二五 電話一三四四 南大門通 坂元分拆所

店員數名至急入用 但し二十歲前後の者本人來談 蓬萊町三丁目 酒見醬油釀造場

金地金、高價買入 京城府本町二丁目 電話四七 振替三一九〇 村木時計店

外務員招聘 希望者は履歷書携帶午前中來社地方は履歷書郵送あれ 黃金町二ノ九六 日淸生命保險朝鮮支社

獨逸製中古ピアノ賣物あり（電話三一〇五番） 京城舟橋町一五三番地 杉野

小供入用 十三歲より十七迄 希望の向は履歷書送付あれ 滿洲長春 阿曾時計店

時計職金銀工師入用 希望の方は履歷書送付あれ 滿洲長春 阿曾時計店

ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場

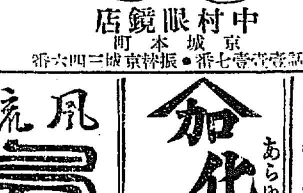
恩給年金 低利長期即時立替 四年半迄保險不要 京城永樂町一 商品陳列館表門前ト角 江州屋本店

金銀細工職人募集 希望の方は御來談あれ 京城黃金町二 電話一〇一五番 喜多金光堂

堅實なる青年を求む 但し或名採用す 忠實に四個年以上勤務者には妻帶させ一個年以上通勤の後は當店後援の元に獨立せしむる特典あり 初給七圓アト臨時 年末賞與あり本人來談せよ 仁川龍岡町 京城南大門外 米見醸造場 誠鶴京城支店

文武官刀劍新調並に修理研日精造 金銀メッキ金具一切專門 京城大和町二丁目（東洋教會前） 中村刀劍店

定價表進呈



中村眼鏡店 京城本町 電話壹壹七番・振替京城三四六番

百圓進呈 大阪三休橋北詰 有田ドラッグ商會

りん病 はいどく 特効藥 帝國醫科大學病院 淋病藥王藥は治淋劑として梅毒王藥は驅梅內服藥として醫學上最有効と確定せし等にて營養配劑せる高貴藥たるを保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は分析料百圓進呈

にせ物 東京大阪各地ににせドラッグあり ◎あらゆる治療をすも効なき患者宛に角度來談あれ 契を買取あれ 大阪有田 ドラッグ商會滿鮮本部 京城南大門外停車場通 （振替京城四一七番 電話二五六七番）

京城黃金町三丁目（全支店） 龍山漢江通（全支店） 釜山大廳町二丁目（全支店） 元山本町三丁目（全支店） 平壤橋町十二番地（全支店） 仁川宮町二丁目（全支店）

◎朝鮮のにせ物 京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり瞞着せられざる樣御注意を乞ふ

讀者藥店及び藥店販賣未許 （全國到る所の都市朝鮮滿洲南淸台灣等に支店あり）

京城龍山等各地に僞物有御注意

大阪心齋橋本町 東京日本橋通四 有田ドラッグ 松

●一萬圓位の貯金は誰れにも出來る

▲世の中には一生懸命働いて金の殘らぬ人あり遊んで居て金が殘る人あり、病人と老人とは論外だが其他の人なら男でも女でも月給取でも農民でも小商人でも勞働者でも一萬圓位の貯金は骨折らずに出來る▲工夫が第一▲余は元來貧家に生れたが十萬圓の苦心の結果余の財產は [illegible] ▲余は其苦心實驗により [illegible] 一萬圓貯金法を立案し『貯金の研究』を發行す▲本誌は世に出づるや、好評噴々 [illegible] ▲尤も余は [illegible] 一年分送料共十二錢 [illegible] 東京市神田區 [illegible] 一力貯金主唱者 高柳淳之助 振替貯金東京三〇八九番

化粧品石鹸問屋 伊勢勘

あらゆるもの無手數にて取扱申候 大阪市南久寶寺町三丁目 振替大阪二八二五番

風流 [illegible]

◎砂金 金石 金 ◎純金銀貨 ◎買並分析 京城旭町二丁目六番地 宮內地金商

淫羊藿エキス

主効 神經衰弱 貧血 腎臟 生殖器病 リウマチス ヒステリー 老衰 [illegible]

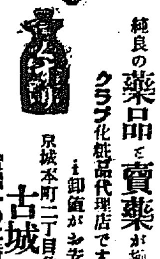
淫羊藿エキス 大人參と優る滋養强壯劑 通稱 三枝九葉草エキス

定價 廿五入 金壹圓 卅五入 金壹圓五十錢 四十五入 金壹圓九十錢 五十五入 金貳圓三十錢 送料 鮮內二錢 外三十錢

全國一手販賣 京城日報社代理部 朝鮮京城府大平通一丁目 電話長六〇九番 振替貯金口座京城三〇八番

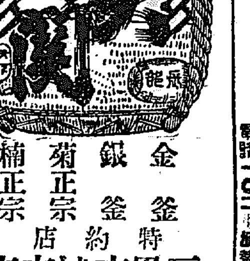
京城特約店 山岸天佑堂 京城特約店 北島支店

電鈴 乾電池 京城朝鮮銀行橫 電話二二二番 ヒオキ商會



純良の藥品と賣藥が揃つて居ます クラブ化粧品代理店ですから 御値がお安いです 京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二二番 振替七三七番

銘酒



金 銀釜 菊正宗 釜 楠正宗 特約店 三巴京城支店 電話八五七 〇三番

大正七年八月二十五日 (日曜日) 京城日報 (明治三十九年九月一日第三種郵便物認可) 第三千九百二十一號 (三)

[illegible]を囘させてゐます此際一家の主偏たる人は大奮發して雜糧を混り抜ける工夫をするより外はありませんませ

[illegible]ます現に英米佛獨の諸國では大減食を實行しつゝあるのです扨今日の財布が淋しい爲備する以外の家庭では每日一回粥を食ますスル

[illegible]る二十五人の會合でに一回二[illegible]錢程安く付き月にして六圓の費用が減じられます

▲外米食をも 更に外國[illegible]何が正しい食事で甚は今日のおやつ位の物を食て居りました現に二食して濟ませる人も少しはありませう斯うすれば米の分量は減らぬに

▲馬鈴薯結構 英米では上流の家庭でも戰爭以前から常食のパンの代用に馬鈴薯を用ひて居ります露獨の田舍では昔から馬鈴[illegible]全部の粥にパンを附ける習慣だとて禁じられてあるのです內地でも九州平戶地方信州駿州の或地方では甘藷の皮を剝いて細き切にし[illegible]させるのも一の方法であります(栗女史談)

◇夏の朝 二十三日獨立門脇の羊牧場にて

○吾輩が參謀ならば 敵を斯うして兩斷する

★…西伯利亞の戰略…★ 某軍事通談

西伯利亞の戰鬪はいよ／＼開始された、セミヨノフ軍が撃退した過激派軍及び獨墺俘虜軍はチタを中心にして其の大部隊を集中してゐるので今東部の方は手薄であるらしい、海軍は既にニコラエフスクに上陸してゐるし、浦鹽の

★大谷軍の 先鋒隊はニコリスクに集中して其後ハバロフスクに向つて前進してゐるらしい又今迄敵欵捕獄の爲に滿洲里からハイラルにかけて潜んでゐた二三千の支那兵もゐるし、チエックの軍隊は確かに一萬二三千はゐる筈だセミヨノフ軍も敗殘の兵を纒むれば七八百はあるだらう日本の滿洲守備隊の一部は既に出動してゐるのだから滿洲里

★回復は近 い內にあるだらう、此際予をして參謀たらしめなば先づ浦鹽軍の増援を要求するのである、而して滿洲里回復の上既に出動してゐる滿洲守備隊の一部をして滿洲里守備に任じ同隊の他の一部をして東清鐵道守備に任ずる殘りの大部隊は齊々哈爾より山路を辿つてブラゴエチエンスクに出さしめ此處を占領さするのである、さうすると敵軍は

★兩斷の形 となるのである、そこで浦鹽軍の一隊をして滿洲里からチタに向つて前進せしめ極力カルイムスクの鐵道交叉點を確實に占領せしむるのである、ハバロフスクとカルイムスクを占領され其の中間のブラゴエチエンスクを斷たれたならば流石の敵軍も進退自由ならず遂に全敗の已むなきに至るだらうと思ふ

○京城神社…◇ 祈願祭

△本日午前十時から 嚴肅に執行

既報の如く京城神社に於ける平和克復出征軍隊健全祈願の臨時祭は二十五日午前十時より嚴肅に執行せらるべし、定刻となるや社殿前祓所に於て齋主以下全員修祓を受け拜殿に參進所定の座位につけば伶人の奏する雅樂の裡に谷村齋主昇殿御扉を開き奉つる、齋員數員が山川河海十臺の神饌を傳供すれば齋主は當日の祝詞を奏上、續いて玉串を奉奠、參列諸員の玉串拜禮更に應召軍人家族の玉串拜禮を了れば再び奏樂の裡に神饌を撤し齋主昇殿御扉を閉ぢ奉りて式を了るべく尚ほ應召軍人に對し神符授與武運長久の祈願等もある筈につき留守宅の家族はなるべく參拜すべし

○親殺し (中)

愈々公判に廻つた 稅關吏貝江弘 彼は斯うして罪を犯した

◇…妻の家出…◇

其內に弘は大正六年六月頃から妻の妹ぐみと道ならぬ關係を結んだ同年十月の或る夜のこと弘はぐみのお酌で例の自暴酒を呻つて居たが醉の廻るにつれてぐみに挑み寛つた、ところが何うしたものか其際ぐみが應じなかつたので暴行を加へて居ると悲鳴の聲を隣室で聽いた父庚運が飛んで來た、そして是を制止しようとすると弘が撲り飛ばして負傷させたので庚運は大いに

▽弘の不倫を憤り 夫れつ限り相手にならず自分だけ別居することゝし次女のぐみは京城の親族に預け只妻の春と姑のみこだけが弘と同棲する事となつた妻春は夫と妹との關係を薄々承知して居たが其の矢先京城の妹から『誠に浅猿しい事ですが妾は身重になりました何うしたら好いでしよう』といふ如何にも思ひ詰つたらしい手紙が來た、春は此手紙を見ると『あゝ矢張さうだつたのか……』口惜しさ悔しに

▽嫉妬の炎を燃 やして又も弘に酷く當るやうになり夫婦の間にも遂に深い／＼溝渠が築かれるやうになつた、其後本年二月七日義父夫妻は松都面高麗町彩霞洞朴宇鉉の別莊番人として傭はれることゝなり別莊側の一つ家に引越した、此處は近郊に稀な景勝の地で且つ閑靜な所である、痛ましい慘劇は間もなく此の家で演ぜられたのである、一方弘は同月二十四日夜又も罪犯を起し妻の春に對して暴行を初めたので春も終に捨鉢になり『もう夫婦別れの外はない』と眞夜中頃に男

▽昌男を背負ひ 家を飛び出兩親の許に逃げて行つた儘歸宅しなかつた、そこで弘は只獨り約二週間も淋しく暮したが其內に偕々自分の非行を悟り三月七日義父庚運に宛て細々と是までの非行を詫び『何卒妻子が元の鞘に納まるやうに取計らつて下さい』といふ意味の書狀を認め懇々人夫を賴んで義父の許に持たせて遣つた、併し庚運は是を肯かなかつた、當帷を遣した弘の暴狀のかず／＼を痛惡し同時に春の復歸を絕對に拒絕した弘は失望もしたが怒りもした何うしようと思つて居る處へ闘らずも釜山に住んでゐる

▽實姉山岡樹が 訪ねて來たので、弘は是れ勿怪の幸ひと早速前後の事情を姉に打明けた、其結果同月十七日姉は弘同道廣運方に赴き妻の復歸に就いて一生懸命哀願して見たけれど廣運は頑として聞き入れなかつた於茲弘の賴みの綱は斷たれたのみならずぐみのお腹の問題さへ何等の解決も付かない、弘は已むなく手を拱ぬいた儘悄然として暗い我家に立歸つた。

○仁川に來た外國米

一萬五千袋の振り當て 三井物產の四千袋は大部分京城へ 値段は京城著て廿二錢

二十二日未明仁川に入港の臺東丸が外米を滿載して來たことは既報の通りであるが此の臺東丸には政府の管理に屬する外米にして朝鮮に振當られた三萬袋の內三井の四千袋、鈴木の五千袋、湯淺の六千袋合計一萬五千袋即ち半數を積んで來たのである右一萬五千袋の內三井の四千袋は略全部取引契約濟であつたのを艱窮に鑑み大部分無條件解約の上京城仁川兩救濟會に依託契約したことである鈴木の五千袋は或る滿洲及び京城監獄に其他を仁川、群山、京城と等分位に配給するの事、湯淺の六千袋は京仁には支店出張所なく出張員によつて處置せられて居るが仁川には千五百袋其他は略前記の按分に依るらしいとの事である價格は何れも百斤八圓三十錢京城著で二十二錢位だと云ふから今後の米價に影響するところ甚大なものがあらう

○鈴木が炭を買占めた

と云ふ噂があるが同商店は

◇……炭にまで手を出して衆怨の府になり度くないと云つてゐる……◇

鈴木商店京城出張所が鐵道沿線に於いて木炭の買占めを開始せりとの說を爲す者ありて京城に於る一部の木炭營業者を脅かしつゝあるが右に就き同商店側の辯明するところに依れば最近或る纏りたる數の木炭を買入れたることは事實なるも右は營業津の

◇撰鑛所用 として三百俵餘を穀物買出人に金郊より買はせたるものにして二萬俵買占云々はその誤りなるべく唯さへ當店に對する種々の非難多き今日俵に就いて十錢や二十錢の利益に過ぎざる木炭にまで手を出して

◇衆怨の府 となるが如き愚は爲さず然して右の如き事實は過去に於て無きのみならず又將來に於ても決して爲さずと云へり

○米の値

が上向く理由 ◇…其筋で調査中…◇

鮮內各地救濟會其他の米廉賣は困窮者の救助と同時に一面米價調節を目的とするものにて之が好轉を示せり然るに最近再び米價の上向を現はせるより其の筋にては目下該原因を調査中なるが右は夕刊所報の如く釜山及び仁川に於て內地よりの依賴を受け米の小口買占をなす不德漢並に內地より買入れに來る者あるを其の主因とし彼等の爲に鮮內米價は攪亂されつゝあるが如し

○一萬圓寄附

京管局から 京城救濟會へ

滿鐵京城管理局にては細民救濟のため今回金一萬圓を京城救濟會へ又五百圓を仁川救濟會に寄附せり

○慰問品

◇長春の露人から 我兵士に寄贈

長春在住の露國人は出征我兵に對し慰問の爲[illegible]一萬數千ココア五千其他種々の物品を寄贈し頗る感謝の意を表し居れり(長春十四日通)

○九管瀆職事件

九管瀆職事件の控訴公判は十月十四日より長崎控訴院に於て開廷さるゝ筈由(長崎電報)

○殘暑酷し

◇例年よりも…… 此暑さはまだ當分續く 二三度高い

豪雨のあとに來る一ツの現象として頃日來秋の半ばのやうに涼しかつた反動でもあらうかこの一兩日は素敵に暑いやうに感ずる、これに就て京城測候所員の談によると二十一日頃

△九州方面 を荒した低氣壓が去ると太平洋岸に優勢な高氣壓が現はれ日本海を越ねて朝鮮に入り二十三日頃から全朝鮮一帶は高氣壓圏內に入つた上に太平洋の南部から暖風を送つて來るので烈しい照り込を見るに至り、その結果として二十四日未明の如き京城附近は

△深い濃霧 があつた、氣溫を見ると二十二日の午後二時には二十八度四分であつたのが二十三日の同時刻には卅度三分となり二十四日の同時刻には三十三度七分まで上るに至つた、これを例年に較べると廿三日は二度廿四日は

△三度高い が一體に氣壓の關係で緩慢であるから二三四日は依然として照つたり曇つたりで暑さは減じまいといふことだ

○廉賣は……◇ 長く續ける 必要が有る

目下京城に於て消費さるゝ白米の總數量は一日平均七百五十石乃至八百石と見るべく此の內の約四分の一を下級者細民と見て之等の食糧として消費されつゝある白米の數量は一日平均

◆約二百石 乃至三百石と觀察すべきものたるべし乃ち京城救濟會が今回廉賣を開始するに當り日々の廉賣石數を二百石乃至三百石と豫定せるは茲に基因せしものにして現に實行しつゝある所なり京城救濟會は全く府民の全般に亘り救濟を爲さんと言ふが如き廣汎なる意味を含まず全く前記四分の一の下級細民に向つて救濟策を講じたるものなるを日々の廉賣豫定石數に見ても明かなる事柄に屬す即ち京城救濟會にては細民救濟の意味より

◆一等白米 の賣出を停止し鮮白米粟若しくは外米を以て廉賣に當つるも亦可なるべく東拓が委託せる廉賣米の賣切れ期に近づけば當然斯の如き方策に出づる計畫なるが如く觀測せらる而して救濟の目的は出來得る限り長期に亘つて繼續の必要あることは人と雖も論なき所にして廉賣に於ける久力あるを必須條件とす茲に於て出來得る限り篤志家義人の

◆醵金を仰 ぎ以て細民救濟の目的を貫徹せられむ事を希望すると同時に京城の米價が一般物價の關係に據り比較的割安にありしに乘じ買占に汲々として徒らに私腹を肥やさんと企圖するが如き奸商輩の取締を嚴重にすべきは勿論一般府民の生活に安心を與へ人心の危機を未然に防遏せられむことを切望するものなり(某消息通談)

口救濟會寄附

金一萬圓 南滿鐵道株式會社
金百圓 崔思永
金三十圓 京城婦人會
金五十圓 安商浩
金二十圓 梁杜連
金十圓 李載鳳
金一千圓 共益社
金二百圓 閔大植
金十六圓廿錢 醫學講習所
金二十圓 金榮洙
金二十圓 金應純
金五十圓 朱性根
金百圓 瀧川靜江
金百圓 李載克
金百圓 吉米地造酒彌
金三百五十四圓 京城質屋組合
金二百圓 韓一銀行
金百圓 韓龍植
金三十圓 肥塚正太
金五十圓 小森虎吉
金五百圓 執行猪太郎
金六十圓 生日稷
金一千圓 第一銀行京城支店
金三百圓 百卅銀行京城支店
▲本社經由(以下三口)
金五十圓 朴基福
金五十圓 鄭光鎬
金五十圓 崔柄斗
小計金一萬四千五百五十六圓廿錢
累計金七萬七千百十六圓二十錢也

○外米の實費分配

滿鐵安東地方事務所より實費分配すべき外米二百四十石は廿四日安東に廻著二十六日頃より滿鐵社員に限り一升二十一錢宛にて分配する由(安東特電)

○飛降りて慘死

二十三日夜釜山行急行列車が水原驛に到著の際同列車の未だ停止せざる內に列車より飛下りたる鮮人ありアハヤと見る間もなくクロスオーバーレールの間に身を挾まれ無慘の死を遂げたるが原因及び氏名は目下不明にて死體は同地憲兵隊に引渡したり

○共進會と賣店

本年秋京城に於て開催さるべき共進會場內に於ける賣店希望者は京城商業會議所に就き其規程及び手續等承合さるべしと

○橋本關雪畫伯

橋本關雪畫伯は令息十四歲に達し其初旅に支那山東省泰山に登る爲め本月一日門司を出發し青島より泰山に登り曲阜の孔子廟に詣で北京に一週日を送りたる上二十二日夜入京日朝歸東の途に就けるが氏は滯支中の口占に曰く

萬壽山
玉泉金樞草如烟。鳳輦不同斜照前。滿地槐陰蟬語雨。舊官坐老入門錢。

攀泰山
白雲飛湯駕長風。弱水三山何處通。天外葵心來拜此。扶桑日出影曈々。

○京城三田會

三越吳服店店務取締役に新任の倉知誠夫氏の滿鮮視察の途次入京を機とし京仁在留の慶應義塾出身者は廿五日日曜日正午朝鮮ホテルに於て歡迎會開催の由、因に會費は金三圓五十錢、條故者にして出席希望の向は同ホテルへ申込まれたしと。

讀者文藝(一等には五十錢の賞品券を呈す)

▲俗謠『涼』

◎手には取れない涼しさながら秋が見ら透く水の月(一等) 蛾亭 登美子

▲使つた涼を呼び起さうと今の夕立つたやら 安州 藏六

▲蹄の目なゝめにさし行く人の涼し袖ぐゝる 飛二浦 キの字

▲うはべにくゝても心は涼しちよいとあふいだ團扇 京城 秋岡子

▲米は下るし涼しい風を浴びて寝る長屋 平北 海月生

胃が丈夫

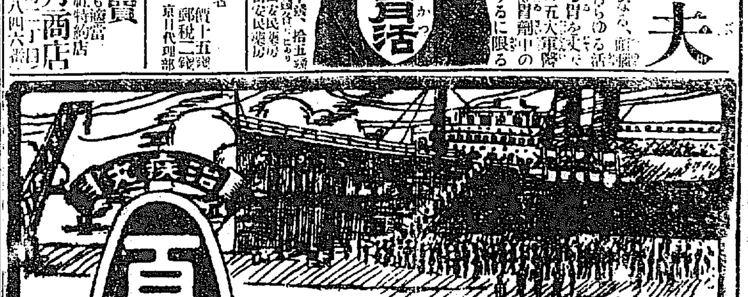
であれば、腕力も強健になり、頭腦も明晰になる、而して行らゆる活動に堪へ得る樣に成る胃を丈夫にするには、我陸海軍の五大軍醫が會議して一劑した、健胃劑中の王と云はるゝ胃活を服するに限る

胃病 良藥

定價 胃活錠 一圓、五十錢、三十錢、拾五錢 本舖 大阪南久寶寺町二 山田安民藥房

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉 共著 定價上五十錢 郵稅二錢 京城太平通 振替京城三〇 京日代理部

鯨尾羽毛 鯨皮類 大販賣 夏季刺身代用品に最も適當 東洋捕鯨株式會社特約店 鯨問屋 香月商店 (京城明治町二丁目)(振替口座四八四六番)



我軍出動!!!
進め…進め…國家の干城
敵は…毒軍……
服め…服め治疾丸百毒下し
梅毒下る…服めば…飲むだけ

主効 ばい毒そう毒し つけ一切によし

伊勢四日市濱町 本舖 加藤平松堂 振替 東京三〇四五番 口座 大阪一七〇五番

同名類似あり治疾丸百毒下しに注意たまへ各地有名藥店にあり

○いろは紙に出ます剪つてためて下さい

いろは金言カード

消化と毒けし

け 謙遜辭讓は第一の德なり(ドライデン)

ふ 夫婦の和は家の肥なり(諺)

サスガは大學 見事に治る

大學目藥

効能
●はやり目
●トラホーム
●のぼせ目
●星目
●たゞれ目
●かすみ目
●打ち目
●血目
●つかれ目
●其外眼病一切に驚く可き奇効あり

大阪 合資會社 參天堂藥房發行

[illegible]『座中の死』渡米合同教師[illegible]

は午前九時より開始

△メソヂスト教會(旭町二丁目) 午前十時『悪者と我』 中村牧師 午後八時

△救世軍京城小隊(永樂町) 午前十時半『讃美』石島大尉 午後八時四十五分『實力』同上

△京城日本基督教會(長谷川町) 午

▲二十四日小賣値段(電報) ▲群山 一等內米一升三十八錢二[illegible]高となり正米數日來昂騰三十四圓五十錢なり

アイヌの女

美しく禮儀正しい
閨秀作家中條百合子さんの土産話

◎アイヌには文字がない

若き女文學者として知られた中條百合子さんは去る五月から三箇月の間北海道のアイヌ部落に入つて得難き興味の生活をして久々で寂しい家に歸られました、百合子さんを御留守中の御宅にお訪ねすると百合子さんは快く迎へて『昨日父に迎へられて歸つて參りました歸ると早く歸つて大學の講演にも出席する心算でしたが、何分あんな遠方へ行つたものですから遂々遅くなつて講演に出られなくなりました、北海道は、私が小さい頃住まつて居りましたので何となく懐しいのさ、丁度先方に居る宣教師でバチエラーさいふ方が永い間アイヌ部落に止まつてアイヌ語の字引なぞつくつて在らつしやいますので北方の御紹介でアイヌの家庭に交つて思ひがけぬ面白いそして珍しい生活をしたのです』と如何にも滿足さうな笑みを漏らしながらその折の御話が次から次に續きます『アイヌの生活狀態は何とも云へぬ

◎美しい ものがあります そして誰もが皆深切なのには驚きました、凡てが禮儀正しいとも云ひ得るもので底拔け内地人の及ばぬほどです又風習と見ゆ婦人が大變によく働いて居ります、男子も働きますがよく酒を飲みその間を樂むやうですが婦人はそんな事がなく終日細々と働いて居りますその爲めか婦人は男性的のやうですが然し夫でも性格の中にも内地人よりも更に美しい立派な婦人を多く見ました例へば往來を行くにも日本婦人のやうに膝から下で歩かずに腰から歩いて身體を眞直に兩手をふつて

◎悠々と して歩いて居ります樣子は實に立派に見ゑます、ほんとに良いのですよ』と力を込めて氣に入つた表情の無邪氣さに思はず百合子さんの御顏を眺め入

◎妻の心（本月休戰） ると今迄氣が付かなかつた百合子さんの髮は束髮ではなくてアイヌ式と思はれる珍らしい結び樣でした『よく人樣がアイヌ人は馬鹿だと申されますがそれは餘りに酷いと思ひます 私は馬鹿とは云はれぬ許でせう 私も僅三箇月の間でよくは分りませんがアイヌ人の

◎頭腦は 一種異なつた點がある決して能力が劣つて居るとは思はれません只生活が單純で凡てに餘裕がありますから頭腦明晰で眼から鼻に拔けるといふやうなのはありませんが婦人なごにしても縫ひが出來ぬと婦人の資格が無いと云はれて誰にも皆巧妙にしますその縫方も一種特有なつまり線縫ひと云ふやうなもので吾れ〳〵の刺繡とちがひ綿に巾をつけないのですそしてそれを縫ふのに下繪もなく縫ひながら頭の中で色々の模樣を考へつゝそれが上手に出來るのです

◎言葉も 内地人と異なりませんがやはりアイヌ固有の言葉も殘つて居ます日本の武藏と云ふのはアイヌ語から來たと云ふことで武藏は實はムサシイと云つて遠淺の地と云ふ意味だと申します然しアイヌには文字が無いので古い事柄が記錄になつて居ませんで多くは傳說となつて居るやうです然しアイヌ人種も漸々混血人種になつて行きますのでアイヌを研究するも隨分

◎面白い と思ひますがな かく困難のやうです、色々御話をしたい事がありますがまだ行李を解きませんので御目にかけられませんが』と振り返られた行李の中にも別に目的は無いと仰しやつてもそれにはやがて編み出される百合子さんの材料が定めし豐富に入つてることでせう（東京特信）

◇桔梗

花の裏の紫凛き桔梗かな

◎もう少し減してもよい
食ひすぎる日本人

◇胃下垂患者が多い◇

目下の大問題となりつゝある米問題、私は夫れに就いて衞生の話をする事にする、私の知人で佛蘭西から歸つた人であるが歷遊事を云つて居た、如何も

◆◆日本人は 總じて贅澤だ殊に食物に於て亂りである、戰爭中の彼國は別問題だが、戰爭前の佛蘭西の家庭の食物と、日本のそれとを比較すれば、流石に日本人は贅を盡して居る、最う少し質と量とを輕減しても良くは無いかと、私は大いに同感した、日本人は昔から

◆◆菜食主義 に馴らされて居て、また量から云へば成るべく多量に攝取した方が滋養に成ると思つて居る習慣をつけられて來て居る、夫れが爲め、働くと働かないとの如何に拘はらず、一日に三食をウンと鱈腹食ふ習慣になつて居る樣である、その結果として、日本人には如何も胃擴張や

◆◆胃下垂等 と云ふ病氣が多い、之は健康と云ふ方面から見ても、減食の必要は有るのである、斯る胃弱の人はどうも虛弱である、斯くの如く、日本人は傳習的に胃弱であり、子供の時から胃腸の惡い人は精力氣根が薄い、多少

◆◆幼時から 心がけて居れば大倉喜八郎さんの如に、老齡尙且つ壯者を凌ぐだけの精力を保つ事が出來るのである、して見れば平常の衞生的教養が必要になつて來る、平常から麥飯でも何でも食する丈の習慣をつけておけば

◆◆今度の樣 な時には餘程助かる、そして一日過激な勞働をする人で無い限は一日二食主義をお薦めし度い、私も現に實行して居る、數學的に說明する迄も無く多量に食したからとて、必ずしもそれ丈の滋養が取れる譯では無くその中に含まれた一定の分量しか滋養とはならぬ

◆◆却て徒に 胃腸を働かせる結果となる計り、故に左樣した胃腸を働かす、無爲な、餘分な力を頭に費した方が有爲であるまいか、且つ又それによつて、生活費も餘程節減させる事も出來て一擧誠に兩得である（某醫學士談）

▲女髮 生徒募集日本全國に於て斯髮元祖教授三ケ月卒業會則郵券三錢送れ 京城本町一丁目婦人高等美髮學會

安價料理

この前はあぶら揚飯のお獻立でしたがけふは味付け飯を主食として蛋白質を按排した御獻立をします、これが十人前で東京しらべの二圓弱やはり一日一人廿錢といふのを程度としたのです

▲朝食▼
△味付け飯 日本米外國米等分混合米四升五合 一圓四十八錢五厘（蛋白質）百七十匁
△すまし汁 切り麩二十個三錢（同）一匁三分冬瓜百匁一錢五厘鰹節五匁三錢五厘（同）三匁五分
△漬物 澤庵五十匁三錢五厘（同）一分

▲晝食▼
△味付け飯 朝炊きたる飯を用ふ
△酢味噌和へ 白味噌六十匁 四錢八厘（蛋白質）七匁二分人蔘五本（百匁）二錢五厘（同）一匁蓮根一把（百匁五十）一錢五厘茄子十個（二百匁）五錢（同）一匁五分
△漬物 菜漬五十匁一錢

▲夕食▼
△味付け飯 朝炊きたる飯を用ふ
△カレー汁 鳥骨一羽分四錢 玉葱二個（六十匁）一錢五厘（蛋白質八分人蔘五本（百匁）二錢五厘（同）一匁馬鈴薯二百匁五錢（同）三匁
△漬物 菜漬五十匁一錢
合計 一圓八十八錢八厘 （蛋白質）百八十九匁四分

▽その料理法

◇味付け飯は混合米を能く洗ひて笊に揚げ次に釜に水四升九合五勺を醬油四合五勺、砂糖三十匁を入れ沸騰せしめたる中に米を入れたる時より五分間を經て火力を去り十八分間蒸す以下月曜日の味付け飯と同じ

◇すまし汁は鍋に水一升五合と鰹節の削りたるを入れ沸騰して冬瓜の皮と膓を去り細切りとして加へ十分位煮て醬油大匙二杯と食鹽にて適當の味を付けたる中に切麩を水に浸して堅く搾りて細かく切て加へる

◇酢味噌和へは白味噌を能く擂り漉し砂糖十匁、酢一合を混ぜ合せて漉し人蔘、蓮根、茄子を細切として茹でたるを水氣を去りて味噌の中にて和へる

◇カレー汁は鳥の骨と水一升五合を鍋に入れ三十分間位煮て鳥の骨を去りたる中に人參、玉葱、馬鈴薯を小角形に切りて入れ十五分煮てカレー粉小匙一杯、麥粉小匙一杯を一緒に水溶として鍋の中に流し入れ食鹽にて適當に味を付ける

品質本位 人蔘エキス チンキ 其他諸製劑 京城南大門通二丁目 朝鮮化學製藥株式會社 電話一三一六番

京城本町 千代田號印舖 電話九八七番

□あたしのくらしから 神戸にて せりを

○
雙手に麥粉が今日も眞白うついた、
そのはたらきの手よ指よ
あたしのほこりよ
窯から出たばかりの暖かなパンを
一つ一つ
渡すうれしさをもつてます、
○
みどりごの風の肉
いと青きさす
いと清きあざよ
そのための傷よ、
人間はみにくしつよし。」

◎鰻料理と櫻壽司 京城名物値く御試食あれ 電車朝鮮銀行前にて御下車 旭町一丁目出雲屋 電話一二八番

◎婦人世界（九月號） 高島平三郎氏の『家庭和樂の秘訣』上田女史の『日々離稼して良人を出世させた貞女』松岡博士の『蚊帳の新研究』小池四郎氏の『吾と同じく嫁入の覺悟』伊澤千世子女史等の『大學の公開講義を聽いた婦人の感想』印度洋で獨艦に襲撃された常陸丸遭難記其他初秋に相應しき家事衞生の面白き記事あり、尚小杉天外氏の小說『狂想曲』は益々佳境に入り情愛小說『家庭教師』と共に見逃すべからざる本誌の二大小說なり（廿錢東京々橋區南紺屋町實業之日本社）

讀者の領分

▲近來炭價日々に昂騰するは鈴木商店の買占なることを確認せり當局及び當社にて調査及び相當なる取締を乞ふ（エスカー生）▲エスカー生は右の外不穩なる文字を用ゐつゝ其他の人にも往々あるが公安の爲め斯の如きものは取らず（係）▲貴新聞に米價が頓ると今度は炭の買占が始まつたとありますが京城石炭の大商店は京元線の各驛に於る木炭の買占をなし木炭は驛には堆積しありても荷出せず靜かに騰貴後の賣出を目ろみ居れりと聞く然らば餘り大商店らしからざる振舞なり（社會の一員）▲物價騰貴生活難、是れまさしく弱者の聲である、而も吾人青年の前には物價騰貴何物ぞ、從つて生活難のあるべき筈なし活氣の充ちたる赤き血潮の迸る青年にして猶生活難を絶叫す、嗚呼慨くべきは現代青年である國事漸く多事の折柄青年の意志の弱弱になり行くを余は歎ず（右眼近視生）▲京城に於て中學校の檢定試驗を受ける事が出來ますか若し出來ましたら本紙上で御知らせを願ひます（聞きたい生）▲自分は時間騰貴の折柄を思ひ得しましたので此の內職をしたいと存じますが陽に御紹介下さる店はありませんか（エスティ生）

天下一品 白鶴 増本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

各種石鹼製造元 京城元町一丁目 生田組石鹼工場 （電話龍山一二六番）

しらがナイス 赤毛染
色も艶も申分ない しらが染はナイスが第一
ナイス五大特長
▲僅二十分で染る
▲永く保ち褪ず剝す
▲艶々と黑く美しく
▲様枕に浸着せず
▲用法至極簡易
價 壹圓・四十錢・二十錢
發賣 大阪 東京 丹平商會
全國到る所化粧品店にあり

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亜鉛版 熟練せる技術を以て廉價に迅速と丁寧親切とを以て御需に應ず 京日寫眞製版部

一番よく
髮の艶を出し……
髮の張を良くする
クラブ香油は
日本名物
椿油、山茶花油、扁桃油、橄欖油等を主要な原料とし、之にクラブ獨特の美髮劑と高貴な香料とを加へて謹製した純植物性の美髮香油で、香油中最も評判好く、畏くも
皇后宮職御用
の光榮を拜して居ります……

お髮洗に クラブ洗粉
お結取に クラブキニーネ
お髮上に クラブ香油
付けて に クラブポマード

盤若の如き→強健なる體軀を見よ!!
是れ皆朝夕の一杯は百藥に優る
美味滋養の葡萄酒
赤玉ポートワインの偉大なる賜!!
夏の今
特に斯の如き人は赤玉ポートワインを召上れ!!
■夏痩する人
■食事の進まぬ人
■元氣衰退の人
■病氣保養の人
■疲勞する人
キツト利目がある

宮内省御用品の價値は既に社會に定評あり種々の名稱を附したる類似品偽造品を本品の軸部にはSWANの英字刻印押捺せり

スワン萬年ペン
到る所の文具店にて日下發賣販賣中買入の節は本品を御指名の上御求め下さい
大阪東區平野町一丁目 スワン大阪出張所

◎南洋新航路

及び英國人が同地方に勢力を有し……

……ク、ラプアン、シツデエルトン、……

……は別に臨時船を充當する由（東京）

◎米國銀塊管理

……軍需用のみに限り最高價格を超過せざる價格を以て聯邦準備局より……に對して百卅五兆インジューム一オンスに對して百五十兆を支拂ふ……

……川崎、大阪鐵工、淺野、播磨、三菱等各造船所の建造にかゝる新造船六……中型六十二隻（噸數二十五萬噸）……

……れば遲くも十一月頃迄には引渡の取に至るべしといふ尙英國の船……

◎課題及び募集規定

□募集規定 ……は同形の用紙一枚每に ……は匿名の外に住所氏名明記の事 ▲一等は五十錢書籍券を呈す……